

# 富士市の工業

(令和3年度)



富士市産業経済部産業政策課

## 御礼

発行にあたり、市内の企業に多大なご協力を  
いただいたことに、感謝申し上げます。

# 目 次

## I 富士市の工業の概要

1 工業関係統計調査結果	1
(1) 令和2年工業統計調査結果(速報)概要	1
ア 事業所数(従業者4人以上の事業所)	2
イ 従業者数(従業者4人以上の事業所)	2
ウ 製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)	3
エ 現金給与総額(従業者4人以上の事業所)	3
オ 原材料使用額等(従業者4人以上の事業所)	3
カ 在庫総額(従業者30人以上の事業所)	3
キ 付加価値額(従業者30人以上の事業所)	3
ク 有形固定資産投資総額(従業者30人以上の事業所)	3
(2) 従業者規模別事業所数等(従業者4人以上の事業所)	4
(3) 産業別、従業者規模別事業所数(従業者4人以上の事業所)	4
(4) 産業別の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比	5
ア 事業所数(従業者4人以上の事業所)	5
イ 従業者数(従業者4人以上の事業所)	6
ウ 製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)	7
(5) 製造品出荷額等及び上位構成産業の推移(従業者4人以上の事業所)	8
2 県内における富士市の工業の位置	9
(1) 事業所数・従業者数・製造品出荷額等のシェアの推移	9
ア 事業所数・従業者数(従業者4人以上の事業所)	9
イ 製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)	10
(2) 県内市別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等	11
ア 全事業所	11
イ 従業者4人以上の事業所	12
(3) 静岡県内上位5市の製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)	13

## II 富士市の地場産業(パルプ・紙産業)の概要

1 富士市域の製紙のあけぼの	14
2 日本の製紙業の興りと富士市域における発展	14
3 戦後の製紙業	15

4	近況	15
5	地場産業（パルプ・紙産業）の年次別推移（従業者4人以上の事業所）	16
6	平成30年地場産業（パルプ・紙産業）の内訳（従業者4人以上の事業所）	16
7	富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の位置	17
	(1) 事業所数	17
	(2) 令和2年品種別生産量及び構成比	17
8	製紙機械産業の概要	19
	(1) 発展過程と現状	19
	(2) 静岡県のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移（従業者4人以上の事業所）	19
	(3) 富士市のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移（従業者4人以上の事業所）	19

### III 富士市の立地企業及び団地の概要

1	主要企業、工業団地等	20
	(1) 産業分類別の事業所数、敷地面積（従業者30人以上の事業所）	20
	(2) 主要企業の立地状況（従業者300人以上）	21
	(3) 主要進出企業の状況	22
	(4) 工業団地の概要	23

### IV 富士市の港湾の概要

1	港湾・貿易	28
	(1) 田子の浦港の沿革	28
	(2) 田子の浦港湾の区域	29
	(3) 航路標識及び公共、専用岸壁	29
	(4) 港湾施設配置図	30
	(5) 令和元年田子の浦港貿易概況	31
	ア 貿易額	31
	イ 輸出	31
	ウ 輸入	31
	(6) 田子の浦港海上出入貨物の推移	32
	(7) 令和2年田子の浦港海上出入貨物の構成	33
	(8) 令和2年田子の浦港入港船舶の構成	34
	(9) 田子の浦港入港船舶の推移	35
	(10) 主要輸入品の年次推移	36

(1) 主要移入品の年次推移	3 6
----------------	-----

## V 富士市の工業基盤・資源の概要

1 工業用水道	3 7
(1) 東駿河湾工業用水道	3 7
ア 施設の概要	3 7
イ 年度別給水状況	3 7
(2) 富士川工業用水道	3 8
ア 施設の概要	3 8
イ 年度別給水状況	3 8
(3) 工業用水道業種別契約水量の推移	3 9
ア 東駿河湾工業用水道	3 9
イ 富士川工業用水道	3 9
2 工業用水	4 0
(1) 工業用水利用状況	4 0
ア 平成 30 年工業用水使用量水源別構成比（従業者 30 人以上の事業所）	4 0
イ 工業用水使用量の推移（従業者 30 人以上の事業所）	4 0
ウ 平成 30 年産業分類別工業用水利用状況（従業者 30 人以上の事業所）	4 1
(2) 平成 30 年市町別の水源別用水量（従業者 30 人以上の事業所）	4 2
3 工業排水（岳南排水路）	4 3
(1) 概要	4 3
(2) 岳南排水路の利用状況	4 3
ア 排水管路別工場数	4 3
イ 管路別年間排出量	4 3
ウ 事業所別排出量の割合	4 3
エ 年間総排水量の経年変化	4 4



# I 富士市の工業の概要

## 1 工業関係統計調査結果

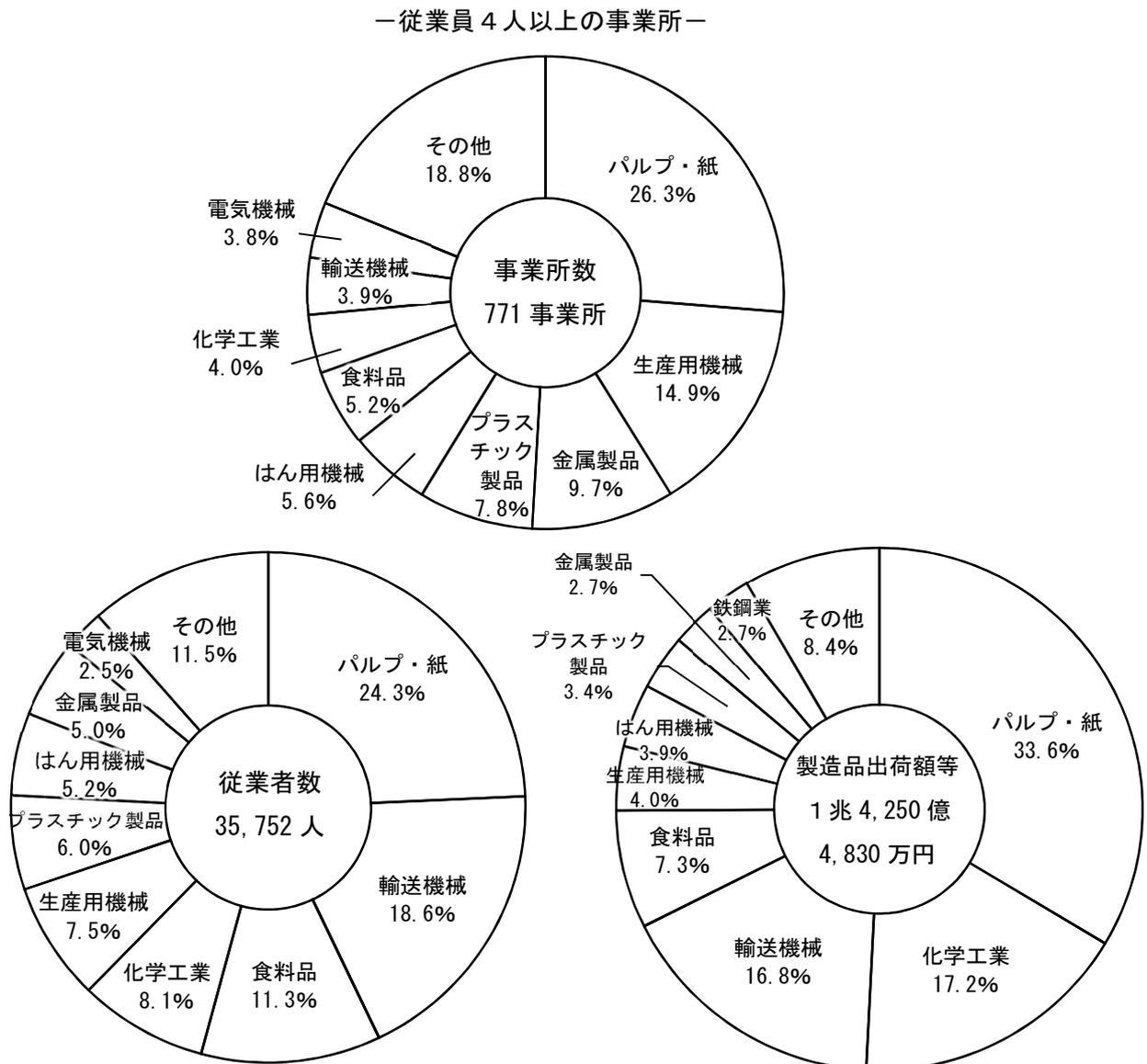
### (1) 令和2年工業統計調査結果（速報）概要

令和2年6月1日現在における富士市の製造業に属する事業所(従業者4人以上)は771事業所、従業者数は35,752人であり、製造品出荷額等は1兆4,250億4千8百万円となっている。

これらを前年の数値と比較すると、事業所数は4事業所(0.5%)の減少、従業者数は803人(2.2%)の減少、製造品出荷額等は72億1千4百万円(0.5%)の減少となった。

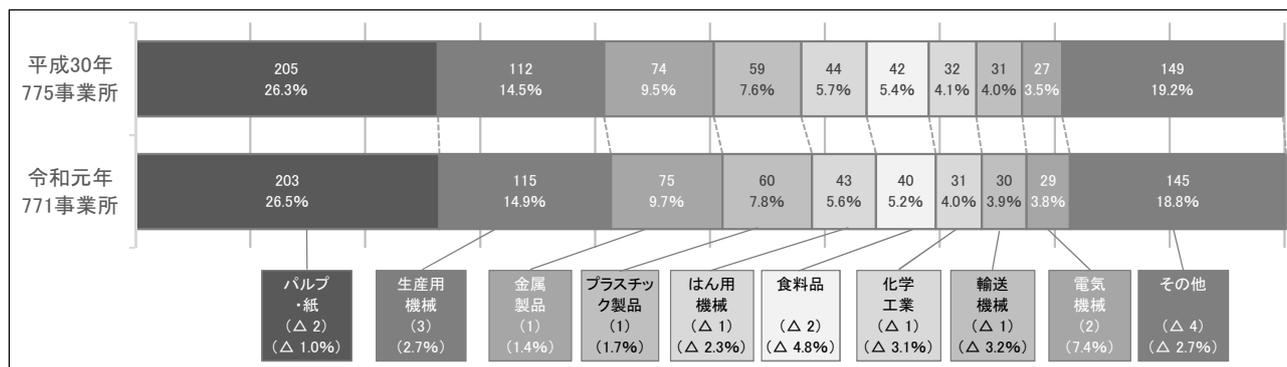
また、県下市町別の製造品出荷額等をみると、第1位は静岡市(2兆1,199億円)で県下の総製造品出荷額等の12.4%を占め、次いで浜松市1兆9,631億円(11.5%)、湖西市1兆6,713億円(9.8%)、磐田市1兆4,919億円(8.7%)、富士市1兆4,250億円(8.3%)の順となっており、この5市で県全体の50.7%を占めている。

資料：静岡県「2020年工業統計調査（速報）」



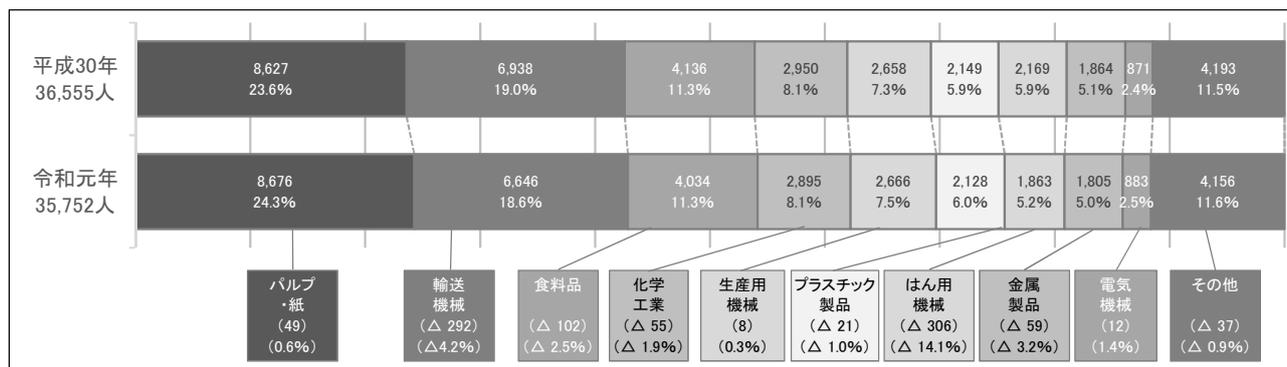
資料：富士市「2020年工業統計調査結果速報」

ア 事業所数 — 771 事業所 — (従業員 4 人以上の事業所)



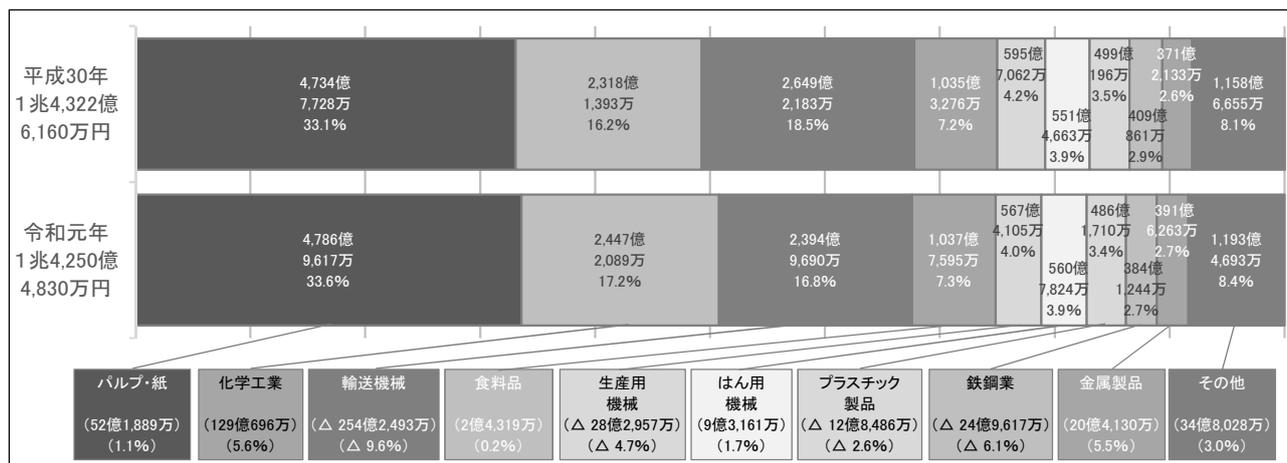
- 前年に比べ全体で 4 事業所 (0.5%) 減少
- 前年に比べ増加した産業は 7 種類 (生産用機械 3 事業所 (2.7%)、金属製品 1 事業所 (1.4%) 等)
- 前年に比べ減少した産業は 10 種類 (パルプ・紙 2 事業所 (1.0%)、はん用機械 1 事業所 (2.3%) 等)
- 平成 30 年において、従業員規模別では従業員規模 4 人～29 人の小規模事業所が 540 事業所 (69.7%)、30 人～299 人の中規模事業所が 219 事業所 (28.2%)、300 人以上の大規模事業所が 16 事業所 (2.1%)

イ 従業員数 — 35,752 人 — (従業員 4 人以上の事業所)



- 前年に比べ全体で 803 人 (2.2%) 減少
- 前年に比べ増加した産業は 10 種類 (パルプ・紙 49 人 (0.6%)、電気機械 12 人 (1.4%) 等)
- 前年に比べ減少した産業は 13 種類 (はん用機械 306 人 (14.1%)、輸送機械 292 人 (4.2%) 等)
- 平成 30 年において、従業員規模別では従業員規模 30 人～299 人の中規模事業所が 17,714 人 (48.4%)、300 人以上の大規模事業所が 11,803 人 (32.3%)、4 人～29 人の小規模事業所が 7,038 人 (19.3%)

ウ 製造品出荷額等 — 1兆4,250億4,830万円 — (従業員4人以上の事業所)



- 前年に比べ全体で72億1,330万円(0.5%)減少
- 前年に比べ増加した産業は13種類(パルプ・紙52億1,889万円(1.1%)、化学工業129億696万円(5.6%)等)
- 前年に比べ減少した産業は8種類(輸送機械254億2,493万円(9.6%)、鉄鋼業24億9,617万円(6.1%)等)
- 平成30年において、従業員規模別では従業員規模30人~299人の中規模事業所が7,535億8,013万円(52.6%)、300人以上の大規模事業所が5,320億8,527万円(37.2%)、4人~29人の小規模事業所が1,465億9,620万円(10.2%)

エ 現金給与総額 — 1,782億6,483万円 — (従業員4人以上の事業所)

- 平成30年において、前年に比べ全体で42億7,887万円(2.4%)増加
- 平成30年において、構成比が最大の産業は輸送機械457億925万円(25.6%)で、パルプ・紙400億8,481万円(22.4%)がこれに続く

オ 原材料使用額等 — 9,083億189万円 — (従業員4人以上の事業所)

- 平成30年において、前年に比べ全体で442億9,806万円(5.1%)増加
- 平成30年において、構成比が最大の産業はパルプ・紙3,071億8,388万円(33.8%)で、輸送機械1,632億2,725万円(17.9%)がこれに続く

カ 在庫総額 — 1,545億667万円 — (従業員30人以上の事業所)

- 平成30年において、年初在庫総額に比べ全体で73億9,872万円(5.0%)増加

キ 付加価値額 — 3,912億1,109万円 — (従業員30人以上の事業所)

- 平成30年において、前年に比べ全体で4億9,544万円(0.1%)増加

ク 有形固定資産投資総額 — 827億4,811万円 — (従業員30人以上の事業所)

- 平成30年において、前年に比べ全体で209億9,428万円(33.9%)増加

資料：アからウは富士市「2020年工業統計調査結果速報」及び富士市「2019年工業統計調査結果」、エからクは富士市「2019年工業統計調査結果」

## (2) 従業者規模別事業所数等（従業者4人以上の事業所）

従業者規模	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)
総数	775	36,555	143,226,160	17,826,483	90,830,189
4～9人	222	1,467	2,759,056	514,949	1,546,334
10～19人	208	2,850	5,346,547	1,052,150	2,824,735
20～29人	110	2,721	6,554,017	1,062,821	3,920,497
30～49人	88	3,392	12,934,605	15,196,563	82,538,623
50～99人	75	5,035	18,706,727		
100～299人	56	9,287	43,716,681		
300人以上	16	11,803	53,208,527		

資料：富士市「2019年工業統計調査結果」

## (3) 産業別、従業者規模別事業所数（従業者4人以上の事業所）

単位：事業所

	総数	規模別（人）								
		4～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1,000人以上
総数	775	222	208	110	88	75	56	10	2	4
9 食料品	42	6	7	6	4	5	10	3	1	—
10 飲料・たばこ・飼料	15	7	6	—	—	—	1	1	—	—
11 繊維工業	17	10	4	1	2	—	—	—	—	—
12 木材・木製品	14	3	6	1	2	—	2	—	—	—
13 家具・装備品	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—
14 パルプ・紙	205	40	50	31	38	24	21	1	—	—
15 印刷	17	6	7	2	2	—	—	—	—	—
16 化学工業	32	8	5	—	2	10	4	2	1	—
17 石油・石炭	3	1	2	—	—	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品	59	17	16	6	7	8	5	—	—	—
19 ゴム製品	6	2	4	—	—	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	17	3	4	7	2	1	—	—	—	—
22 鉄鋼業	13	1	1	3	5	2	1	—	—	—
23 非鉄金属	5	2	2	1	—	—	—	—	—	—
24 金属製品	74	32	23	8	5	4	1	1	—	—
25 はん用機械	44	18	12	7	4	2	—	—	—	1
26 生産用機械	112	43	32	22	6	4	5	—	—	—
27 業務用機械	9	2	1	—	2	1	3	—	—	—
28 電子部品・デバイス	9	1	2	1	—	5	—	—	—	—
29 電気機械	27	1	7	9	4	5	1	—	—	—
30 情報通信機械	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
31 輸送機械	31	7	10	3	1	3	2	2	—	3
32 その他	18	7	6	2	2	1	—	—	—	—

資料：富士市「2019年工業統計調査結果」

※ 下線部は重化学工業

## (4) 産業別の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比

## ア 事業所数（従業者4人以上の事業所）

産業中分類	静岡県				富士市				富士市の ウエイト B/A (%)
	H30年	R元年			H30年	R元年			
	事業 所数 (事業 所)	A 事業 所数 (事業 所)	構成比 (%)	前年比 (%)	事業 所数 (事業 所)	B 事業 所数 (事業 所)	構成比 (%)	前年比 (%)	
総数	9,002	8,765	100.0	△ 2.6	775	771	100.0	△ 0.5	8.8
軽工業計	4,391	4,227	48.2	△ 3.7	415	408	52.9	△ 1.7	9.7
重化学工業計	4,611	4,538	51.8	△ 1.6	360	363	47.1	0.8	8.0
9 食料品	1,095	1,056	12.0	△ 3.6	42	40	5.2	△ 4.8	3.8
10 飲料・たばこ・飼料	513	488	5.6	△ 4.9	15	15	1.9	0.0	3.1
11 繊維工業	235	227	2.6	△ 3.4	17	18	2.3	5.9	7.9
12 木材・木製品	248	235	2.7	△ 5.2	14	12	1.6	△ 14.3	5.1
13 家具・装備品	241	239	2.7	△ 0.8	5	4	0.5	△ 20.0	1.7
14 パルプ・紙	467	462	5.3	△ 1.1	205	203	26.3	△ 1.0	43.9
15 印刷	276	264	3.0	△ 4.3	17	16	2.1	△ 5.9	6.1
16 化学工業	184	184	2.1	0.0	32	31	4.0	△ 3.1	16.8
17 石油・石炭	31	30	0.3	△ 3.2	3	3	0.4	0.0	10.0
18 プラスチック製品	663	646	7.4	△ 2.6	59	60	7.8	△ 1.7	9.3
19 ゴム製品	98	87	1.0	△ 11.2	6	4	0.5	△ 33.3	4.6
20 なめし革・同製品	12	11	0.1	△ 8.3	—	—	—	—	0.0
21 窯業・土石	214	204	2.3	△ 4.7	17	17	2.2	0.0	8.3
22 鉄鋼業	130	128	1.5	△ 1.5	13	13	1.7	0.0	10.2
23 非鉄金属	105	110	1.3	4.8	5	5	0.6	0.0	4.5
24 金属製品	1,047	1,031	11.8	△ 1.5	74	75	9.7	1.4	7.3
25 はん用機械	255	244	2.8	△ 4.3	44	43	5.6	△ 2.3	17.6
26 生産用機械	1,009	995	11.4	△ 1.4	112	115	14.9	2.7	11.6
27 業務用機械	127	124	1.4	△ 2.4	9	10	1.3	11.1	8.1
28 電子部品・デバイス	135	134	1.5	△ 0.7	9	8	1.0	△ 11.1	6.0
29 電気機械	544	540	6.2	△ 0.7	27	29	3.8	7.4	5.4
30 情報通信機械	40	37	0.4	△ 7.5	1	1	0.1	0.0	2.7
31 輸送機械	1,004	981	11.2	△ 2.3	31	30	3.9	△ 3.2	3.1
32 その他	329	308	3.5	△ 6.4	18	19	2.5	5.6	6.2

資料：静岡県「2020年工業統計調査（速報）」、富士市「2020年工業統計調査結果速報」

※ 下線部は重化学工業

イ 従業者数（従業者4人以上の事業所）

産業中分類	静岡県				富士市				富士市の ウエイト B/A (%)
	H30年	R元年			H30年	R元年			
	従業者数 (人)	A 従業者数 (人)	構成比 (%)	前年比 (%)	従業者数 (人)	B 従業者数 (人)	構成比 (%)	前年比 (%)	
総数	413,309	412,380	100.0	△ 0.2	36,555	35,752	100.0	△ 2.2	8.7
軽工業計	149,755	148,172	35.9	△ 1.1	17,230	17,176	48.0	△ 0.3	11.6
重化学工業計	263,554	264,208	64.1	0.2	19,325	18,576	52.0	△ 3.9	7.0
9 食料品	46,551	45,483	11.0	△ 2.3	4,136	4,034	11.3	△ 2.5	8.9
10 飲料・たばこ・飼料	11,586	11,511	2.8	△ 0.6	536	584	1.6	9.0	5.1
11 繊維工業	5,384	5,213	1.3	△ 3.2	197	210	0.6	6.6	4.0
12 木材・木製品	4,453	4,393	1.1	△ 1.3	564	548	1.5	△ 2.8	12.5
13 家具・装備品	4,369	4,501	1.1	3.0	33	28	0.1	△ 15.2	0.6
14 パルプ・紙	18,709	18,925	4.6	1.2	8,627	8,676	24.3	0.6	45.8
15 印刷	7,684	8,129	2.0	5.8	244	240	0.7	△ 1.6	3.0
<u>16 化学工業</u>	23,040	23,880	5.8	3.6	2,950	2,895	8.1	△ 1.9	12.1
<u>17 石油・石炭</u>	448	453	0.1	1.1	34	35	0.1	2.9	7.7
18 プラスチック製品	27,615	28,320	6.9	2.6	2,149	2,128	6.0	△ 1.0	7.5
19 ゴム製品	7,882	7,234	1.8	△ 8.2	72	46	0.1	△ 36.1	0.6
20 なめし革・同製品	319	287	0.1	△ 10.0	—	—	—	—	0.0
21 窯業・土石	5,295	4,916	1.2	△ 7.2	365	376	1.1	3.0	7.6
<u>22 鉄鋼業</u>	3,656	3,546	0.9	△ 3.0	597	544	1.5	△ 8.9	15.3
<u>23 非鉄金属</u>	7,231	7,167	1.7	△ 0.9	65	72	0.2	10.8	1.0
<u>24 金属製品</u>	24,784	24,420	5.9	△ 1.5	1,864	1,805	5.0	△ 3.2	7.4
<u>25 はん用機械</u>	11,451	10,721	2.6	△ 6.4	2,169	1,863	5.2	△ 14.1	17.4
<u>26 生産用機械</u>	30,816	29,928	7.3	△ 2.9	2,658	2,666	7.5	0.3	8.9
<u>27 業務用機械</u>	8,585	11,305	2.7	31.7	724	739	2.1	2.1	6.5
<u>28 電子部品・デバイス</u>	12,512	12,656	3.1	1.2	444	417	1.2	△ 6.1	3.3
<u>29 電気機械</u>	47,484	47,634	11.6	0.3	871	883	2.5	1.4	1.9
<u>30 情報通信機械</u>	4,190	4,007	1.0	△ 4.4	11	11	0.0	0.0	0.3
<u>31 輸送機械</u>	89,357	88,491	21.5	△ 1.0	6,938	6,646	18.6	△ 4.2	7.5
32 その他	9,908	9,260	2.2	△ 6.5	307	306	0.9	△ 0.3	3.3

資料：静岡県「2020年工業統計調査（速報）」及び富士市「2020年工業統計調査結果速報」

※ 下線部は重化学工業

ウ 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

産業中分類	静岡県				富士市				富士市の ウエイト B/A (%)
	H30年	R元年			H30年	R元年			
	製造品 出荷額等 (百万円)	A 製造品 出荷額等 (百万円)	構成 比 (%)	前年 比 (%)	製造品 出荷額等 (百万円)	B 製造品 出荷額等 (百万円)	構成 比 (%)	前年 比 (%)	
総数	17,539,461	17,131,801	100.0	△ 2.3	1,432,262	1,425,048	100.0	△ 0.5	8.3
軽工業計	5,034,437	5,075,318	29.6	0.8	710,872	718,530	50.4	1.1	14.2
重化学工業計	12,505,024	12,056,483	70.4	△3.6	721,390	706,518	49.6	△ 2.1	5.9
9 食料品	1,392,069	1,366,243	8.0	△ 1.9	103,533	103,776	7.3	0.2	7.6
10 飲料・たばこ・飼料	905,513	964,994	5.6	6.6	31,072	31,874	2.2	2.6	3.3
11 繊維工業	118,490	110,861	0.6	△ 6.4	1,629	1,668	0.1	2.4	1.5
12 木材・木製品	203,442	210,794	1.2	3.6	29,410	30,629	2.1	4.1	14.5
13 家具・装備品	96,673	101,398	0.6	4.9	318	267	0.0	△ 16.0	0.3
14 パルプ・紙	857,539	870,892	5.1	1.6	473,477	478,696	33.6	1.1	55.0
15 印刷	149,172	149,172	0.9	0.4	6,337	7,295	0.5	15.1	4.9
16 化学工業	1,895,440	1,900,122	11.1	0.2	231,814	244,721	17.2	5.6	12.9
17 石油・石炭	26,734	28,858	0.2	7.9	X	X	X	X	X
18 プラスチック製品	744,963	746,425	4.4	0.2	49,902	48,617	3.4	△ 2.6	6.5
19 ゴム製品	195,887	191,571	1.1	△ 2.2	813	306	0.0	△ 62.4	0.2
20 なめし革・同製品	6,884	7,716	0.0	12.1	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	156,636	157,813	0.9	0.8	9,204	9,395	0.7	2.1	6.0
22 鉄鋼業	233,974	214,414	1.3	△ 8.4	40,909	38,413	2.7	△ 6.1	17.9
23 非鉄金属	605,456	505,413	3.0	△ 16.5	1,621	1,321	0.1	△ 18.5	0.3
24 金属製品	591,125	581,904	3.4	△ 1.6	37,121	39,163	2.7	5.5	6.7
25 はん用機械	330,119	324,003	1.9	△ 1.9	55,147	56,078	3.9	1.7	17.3
26 生産用機械	944,733	853,554	5.0	△9.7	59,571	56,741	4.0	△ 4.7	6.6
27 業務用機械	271,252	260,246	1.5	△ 4.1	7,452	7,922	0.6	6.3	3.0
28 電子部品・デバイス	324,078	323,245	1.9	△ 0.3	5,265	4,030	0.3	△ 23.5	1.2
29 電気機械	2,459,521	2,505,248	14.6	1.9	15,194	15,685	1.1	3.2	0.6
30 情報通信機械	339,845	276,364	1.6	△ 18.7	X	X	X	X	X
31 輸送機械	4,482,748	4,283,111	25.0	△ 4.5	264,922	239,497	16.8	△ 9.6	5.6
32 その他	207,169	196,800	1.1	△ 5.0	5,176	6,006	0.4	16.0	3.1
秘 匿	—	—	—	—	2,375	2,948	0.2	—	—

資料：静岡県「2020年工業統計調査（速報）」及び富士市「2020年工業統計調査結果速報」

※ 下線部は重化学工業

※ 「—」は該当の数値なし、「X」は秘匿箇所

## (5) 製造品出荷額等及び上位構成産業の推移（従業者4人以上の事業所）

年	製造品出荷額等 (万円)	第1位 (%)	第2位 (%)	第3位 (%)	第4位 (%)	第5位 (%)
H17	130,197,279 (82.4)	パルプ・紙 (35.4)	輸送機械 (16.0)	化学工業 (14.6)	電気機械 (9.2)	一般機械 (7.2)
H18	137,681,966 (83.3)	パルプ・紙 (34.2)	輸送機械 (16.9)	化学工業 (15.2)	電気機械 (9.2)	一般機械 (7.8)
H19	144,877,976 (82.2)	パルプ・紙 (33.9)	輸送機械 (16.8)	化学工業 (16.1)	電気機械 (8.2)	一般機械 (7.2)
H20	158,393,407 (78.8)	パルプ・紙 (33.1)	化学工業 (16.2)	輸送機械 (14.4)	電気機械 (8.3)	生産用機械 (6.8)
H21	135,132,893 (79.4)	パルプ・紙 (33.7)	化学工業 (17.1)	輸送機械 (16.7)	電気機械 (7.2)	食料品 (4.7)
H22	142,486,260 (81.0)	パルプ・紙 (31.5)	輸送機械 (21.8)	化学工業 (17.9)	電気機械 (5.9)	食料品 (3.9)
H23	135,638,317 (81.1)	パルプ・紙 (32.5)	輸送機械 (21.1)	化学工業 (19.3)	食料品 (4.5)	生産用機械 (3.7)
H24	130,245,423 (83.1)	パルプ・紙 (30.2)	輸送機械 (25.9)	化学工業 (18.3)	食料品 (4.7)	生産用機械 (4.0)
H25	127,908,680 (82.5)	パルプ・紙 (29.4)	輸送機械 (25.5)	化学工業 (18.7)	食料品 (4.7)	生産用機械 (4.2)
H26	136,768,137 (79.7)	パルプ・紙 (28.1)	輸送機械 (21.6)	化学工業 (16.2)	電気機械 (8.7)	食料品 (5.1)
H27	144,516,084 (79.0)	パルプ・紙 (29.8)	輸送機械 (19.2)	化学工業 (15.3)	はん用機械 (8.4)	食料品 (6.3)
H28	135,711,372 (78.6)	パルプ・紙 (32.6)	輸送機械 (18.3)	化学工業 (15.4)	食料品 (7.4)	はん用機械 (4.9)
H29	138,164,569 (79.2)	パルプ・紙 (32.7)	輸送機械 (19.1)	化学工業 (16.0)	食料品 (6.9)	生産用機械 (4.5)
H30	143,226,160 (79.2)	パルプ・紙 (33.1)	輸送機械 (18.5)	化学工業 (16.2)	食料品 (7.2)	生産用機械 (4.2)
R元	142,504,830 (78.9)	パルプ・紙 (33.6)	化学工業 (17.2)	輸送機械 (16.8)	食料品 (7.3)	生産用機械 (4.0)

資料：令和元年は富士市「2020年工業統計調査結果速報」

※ 「製造品出荷額等」欄の下段数値は、第5位までの産業が占める割合

※ 平成19年以前の数値に旧富士川町分は含まない。

## 2 県内における富士市の工業の位置

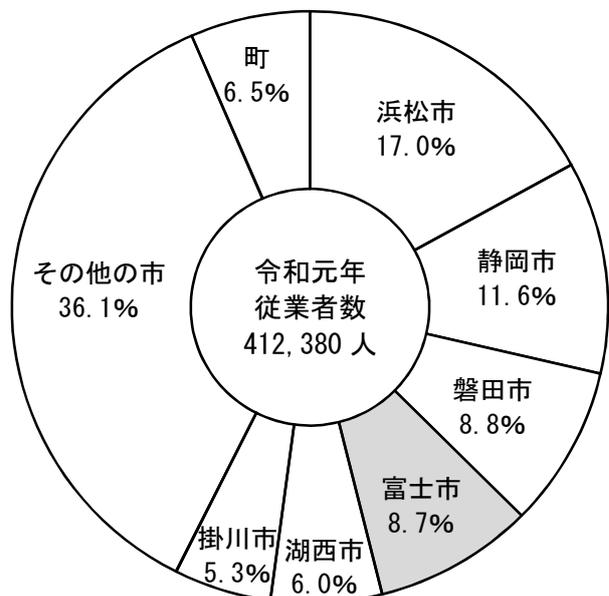
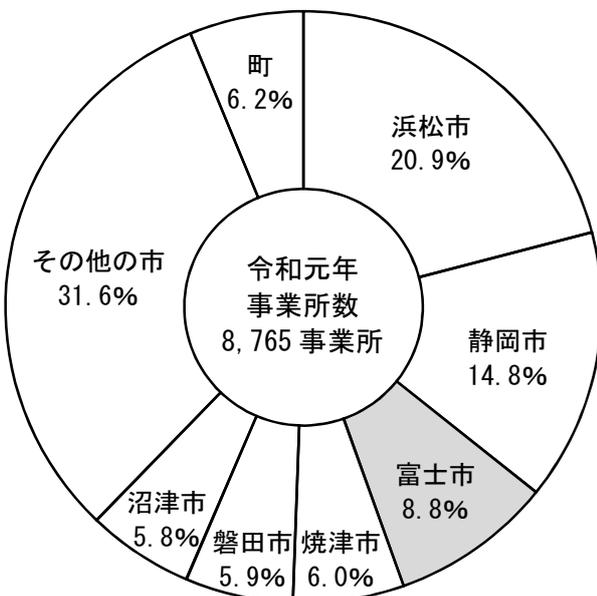
### (1) 事業所数・従業者数・製造品出荷額等のシェアの推移

#### ア 事業所数・従業者数（従業者4人以上の事業所）

年	事業所数（事業所）						従業者数（人）					
	静岡県 A	前年比 (%)	富士市 B	前年比 (%)	県内 順位	シェア B/A (%)	静岡県 A	前年比 (%)	富士市 B	前年比 (%)	県内 順位	シェア B/A (%)
H17	13,228	2.2	1,045	2.1	3	7.9	441,562	2.0	35,606	△ 1.0	4	8.1
H18	12,525	△ 5.3	1,003	△ 4.0	3	8.0	446,948	1.2	36,110	1.4	4	8.1
H19	12,427	△ 0.8	1,005	0.2	3	8.1	457,695	2.4	36,533	1.2	4	8.0
H20	12,535	0.9	1,053	4.8	3	8.4	446,577	△ 2.4	37,278	2.0	4	8.3
H21	11,266	△ 10.1	957	△ 9.1	3	8.5	411,551	△ 7.8	35,038	△ 6.0	4	8.5
H22	10,768	△ 4.4	934	△ 2.4	3	8.7	409,030	△ 0.6	34,216	△ 2.3	4	8.4
H23	11,194	4.0	901	△ 3.5	3	8.0	396,465	△ 3.1	32,666	△ 4.5	4	8.2
H24	10,431	△ 6.8	872	△ 3.2	3	8.4	393,687	△ 0.7	31,803	△ 2.6	4	8.1
H25	10,037	△ 3.8	860	△ 1.4	3	8.6	388,877	△ 1.2	31,822	0.1	4	8.2
H26	9,777	△ 2.6	833	△ 3.1	3	8.5	386,924	△ 0.5	32,742	2.9	4	8.5
H27	10,492	7.3	896	7.6	3	8.5	396,406	2.5	34,514	5.4	4	8.7
H28	9,299	△ 11.4	799	△ 10.8	3	8.6	398,450	0.5	35,985	4.3	3	9.0
H29	9,138	△ 1.7	792	△ 0.9	3	8.7	405,154	1.7	36,450	1.3	3	9.0
H30	9,002	△ 1.5	775	△ 2.2	3	8.6	413,309	2.0	36,555	0.2	4	8.8
R元	8,765	△ 2.6	771	△ 0.5	3	8.8	412,380	△ 0.2	35,752	△ 2.2	4	8.7

資料：平成30年及び令和元年は静岡県「2020年工業統計調査（速報）」

※ 平成19年以前の数値に旧富士川町分は含まない。

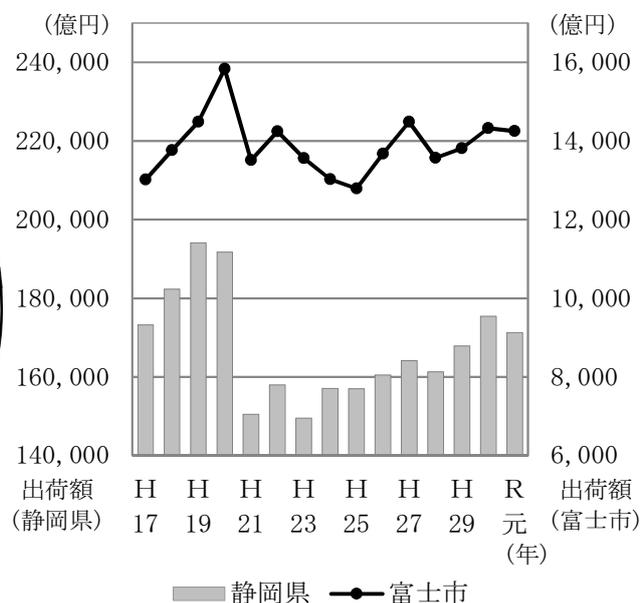
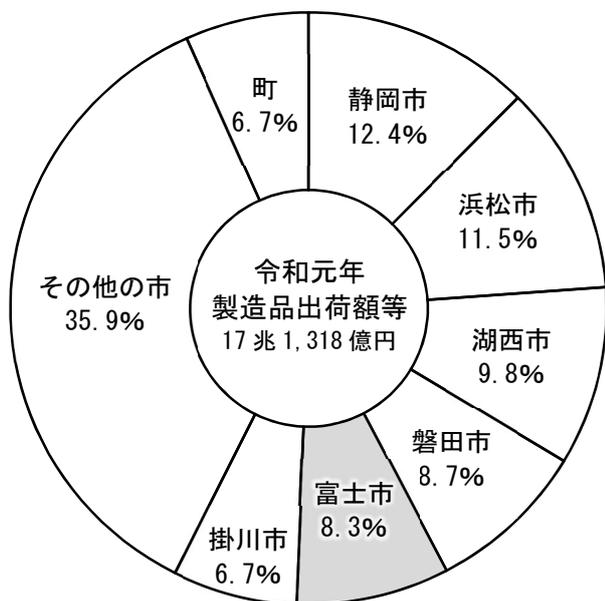


イ 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

年	製造品出荷額等（百万円）						シェア B/A (%)
	静岡県 A	前年比 (%)	都道府県 順位	富士市 B	前年比 (%)	県内順位	
H17	17,322,744	3.7	3	1,301,973	△ 1.0	6	7.5
H18	18,234,667	5.3	3	1,376,820	5.7	6	7.6
H19	19,410,264	6.4	3	1,448,780	5.2	6	7.5
H20	19,177,718	△ 1.2	3	1,583,934	9.3	6	8.3
H21	15,050,953	△ 21.5	2	1,351,329	△ 14.7	5	9.0
H22	15,793,109	4.9	3	1,424,863	5.4	5	9.0
H23	14,949,739	△ 5.3	4	1,356,383	△ 4.8	5	9.1
H24	15,707,724	5.1	4	1,302,454	△ 4.0	5	8.3
H25	15,699,131	△ 0.1	4	1,279,087	△ 1.8	5	8.1
H26	16,050,724	2.2	4	1,367,681	6.9	5	8.5
H27	16,412,474	2.3	4	1,448,538	5.9	5	8.8
H28	16,132,179	△ 1.7	3	1,357,114	△ 6.3	5	8.4
H29	16,787,113	4.1	4	1,381,646	1.8	5	8.2
H30	17,539,461	4.4	4	1,432,262	3.6	5	8.1
R元	17,131,801	△ 2.3	3	1,425,048	△ 0.5	5	8.3

資料：平成30年及び令和元年は静岡県「2020年工業統計調査（速報）」

※ 平成19年以前の数値に旧富士川町分は含まない。



## (2) 県内市別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等

## ア 全事業所

市別	事業所数（事業所）				従業者数（人）			
	H29年	H30年	構成比（%）	前年比（%）	H29年	H30年	構成比（%）	前年比（%）
総数	16,139	15,745	100.0	97.6	418,874	426,478	100.0	1.8
静岡市	2,714	2,621	16.6	96.6	49,725	50,624	11.9	1.8
浜松市	3,527	3,436	21.8	97.4	73,408	73,540	17.2	0.2
沼津市	924	905	5.7	97.9	19,658	20,283	4.8	3.2
熱海市	61	59	0.4	96.7	309	275	0.1	△ 11.0
三島市	294	278	1.8	94.6	7,283	7,260	1.7	△ 0.3
富士宮市	552	553	3.5	100.2	20,216	20,557	4.8	1.7
伊東市	127	127	0.8	100.0	818	804	0.2	△ 1.7
島田市	569	554	3.5	97.4	11,534	11,805	2.8	2.3
富士市	1,205	1,182	7.5	98.1	37,287	37,374	8.8	0.2
磐田市	893	881	5.6	98.7	36,785	37,566	8.8	2.1
焼津市	828	821	5.2	99.2	16,641	17,204	4.0	3.4
掛川市	561	551	3.5	98.2	21,956	22,762	5.3	3.7
藤枝市	594	580	3.7	97.6	13,110	13,257	3.1	1.1
御殿場市	199	194	1.2	97.5	8,175	8,093	1.9	△ 1.0
袋井市	353	342	2.2	96.9	13,973	13,992	3.3	0.1
下田市	41	40	0.3	97.6	267	280	0.1	4.9
裾野市	166	164	1.0	98.8	7,407	7,061	1.7	△ 4.7
湖西市	336	329	2.1	97.9	22,689	24,859	5.8	9.6
伊豆市	130	122	0.8	93.8	1,223	1,223	0.3	0.0
御前崎市	175	168	1.1	96.0	3,837	4,066	1.0	6.0
菊川市	272	269	1.7	98.9	8,485	9,003	2.1	6.1
伊豆の国市	172	172	1.1	100.0	3,660	3,939	0.9	7.6
牧之原市	418	413	2.6	98.8	12,252	12,407	2.9	1.3
郡（町）計	1,028	984	6.2	95.7	28,176	28,244	6.6	0.2

資料：静岡県「2019年工業統計調査報告書」

イ 従業者4人以上の事業所

市別	事業所数(事業所)				従業者数(人)				製造品出荷額等(百万円)			
	H30年	R元年	構成比(%)	前年比(%)	H30年	R元年	構成比(%)	前年比(%)	H30年	R元年	構成比(%)	前年比(%)
総数	9,002	8,765	100.0	△ 2.6	413,309	412,380	100.0	△ 0.2	17,539,461	17,131,801	100.0	△ 2.3
静岡市	1,327	1,300	14.8	△ 2.0	48,158	47,814	11.6	△ 0.7	2,122,375	2,119,931	12.4	△ 0.1
浜松市	1,893	1,834	20.9	△ 3.1	70,512	70,135	17.0	△ 0.5	2,011,338	1,963,144	11.5	△ 2.4
沼津市	515	507	5.8	△ 1.6	19,509	18,706	4.5	△ 4.1	640,641	598,887	3.5	△ 6.5
熱海市	19	19	0.2	0.0	194	206	0.0	6.2	2,983	2,978	0.0	△ 0.2
三島市	160	159	1.8	△ 0.6	7,025	6,949	1.7	△ 1.1	190,724	182,443	1.1	△ 4.3
富士宮市	339	328	3.7	△ 3.2	20,140	23,806	5.8	18.2	969,344	879,673	5.1	△ 9.3
伊東市	45	44	0.5	△ 2.2	629	607	0.1	△ 3.5	9,159	8,922	0.1	△ 2.6
島田市	315	299	3.4	△ 5.1	11,335	11,103	2.7	△ 2.0	362,186	358,740	2.1	△ 1.0
富士市	775	771	8.8	△ 0.5	36,555	35,752	8.7	△ 2.2	1,432,262	1,425,048	8.3	△ 0.5
磐田市	535	513	5.9	△ 4.1	36,888	36,434	8.8	△ 1.2	1,454,377	1,491,973	8.7	2.6
焼津市	543	528	6.0	△ 2.8	16,649	16,707	4.1	0.3	625,422	623,955	3.6	△ 0.2
掛川市	340	322	3.7	△ 5.3	22,373	21,843	5.3	△ 2.4	1,114,714	1,150,566	6.7	3.2
藤枝市	342	330	3.8	△ 3.5	12,769	12,699	3.1	△ 0.5	506,001	514,160	3.0	1.6
御殿場市	138	136	1.6	△ 1.4	7,994	8,042	2.0	0.6	484,527	425,177	2.5	△ 12.2
袋井市	222	216	2.5	△ 2.7	13,740	14,177	3.4	3.2	643,726	604,749	3.5	△ 6.1
下田市	9	8	0.1	△ 11.1	224	154	0.0	△ 31.3	3,661	1,498	0.0	△ 59.1
裾野市	106	109	1.2	2.8	6,943	6,569	1.6	△ 5.4	380,523	350,054	2.0	△ 8.0
湖西市	195	186	2.1	△ 4.6	24,571	24,787	6.0	0.9	1,732,725	1,671,392	9.8	△ 3.5
伊豆市	59	56	0.6	△ 5.1	1,098	926	0.2	△ 15.7	18,240	13,775	0.1	△ 24.5
御前崎市	105	107	1.2	1.9	3,938	3,919	1.0	△ 0.5	131,889	128,517	0.8	△ 2.6
菊川市	174	166	1.9	△ 4.6	8,817	8,583	2.1	△ 2.7	283,500	283,998	1.7	0.2
伊豆の国市	94	90	1.0	△ 4.3	3,799	3,670	0.9	△ 3.4	148,261	137,423	0.8	△ 7.3
牧之原市	198	194	2.2	△ 2.0	12,002	11,987	2.9	△ 0.1	1,120,123	1,047,671	6.1	△ 6.5
郡(町)計	554	543	6.2	△ 2.0	27,447	26,805	6.5	△ 2.3	1,150,761	1,147,126	6.7	△ 0.3

資料：静岡県「2020年工業統計調査(速報)」

## (3) 静岡県内上位5市の製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)

単位:百万円、(%)

年	静岡県	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
H17	17,457,827 (53.2)	浜松市 2,778,024 (15.9)	磐田市 2,074,254 (11.9)	静岡市 1,642,364 (9.4)	掛川市 1,456,197 (8.3)	湖西市 1,332,093 (7.6)	富士市 1,308,247 (7.5)
H18	18,234,667 (54.2)	浜松市 2,849,996 (15.6)	磐田市 2,479,215 (13.6)	静岡市 1,644,305 (9.0)	湖西市 1,464,278 (8.0)	掛川市 1,450,219 (8.0)	富士市 1,376,819 (7.6)
H19	19,410,264 (54.9)	浜松市 3,225,665 (16.6)	磐田市 2,468,155 (12.7)	静岡市 1,759,508 (9.1)	湖西市 1,668,538 (8.6)	掛川市 1,525,721 (7.9)	富士市 1,448,780 (7.5)
H20	19,302,258 (54.3)	浜松市 2,892,035 (15.0)	磐田市 2,346,812 (12.2)	静岡市 1,862,974 (9.7)	湖西市 1,762,169 (9.1)	掛川市 1,618,617 (8.4)	富士市 1,583,934 (8.2)
H21	15,050,953 (53.3)	浜松市 2,098,101 (13.9)	磐田市 1,621,186 (10.8)	静岡市 1,542,664 (10.2)	湖西市 1,407,746 (9.4)	富士市 1,351,329 (9.0)	掛川市 1,248,141 (8.3)
H22	15,793,109 (54.0)	浜松市 2,014,577 (12.8)	磐田市 1,748,484 (11.1)	静岡市 1,697,201 (10.7)	湖西市 1,650,322 (10.4)	富士市 1,424,863 (9.0)	掛川市 1,180,123 (7.5)
H23	14,949,739 (54.0)	浜松市 1,970,088 (13.2)	磐田市 1,635,818 (10.9)	静岡市 1,561,142 (10.4)	湖西市 1,542,770 (10.3)	富士市 1,356,383 (9.1)	掛川市 1,051,993 (7.0)
H24	15,707,724 (54.1)	浜松市 2,085,286 (13.3)	磐田市 1,721,568 (11.0)	静岡市 1,711,073 (10.9)	湖西市 1,683,802 (10.7)	富士市 1,302,454 (8.3)	掛川市 1,069,353 (6.8)
H25	15,699,130 (54.5)	浜松市 2,130,271 (13.6)	静岡市 1,751,664 (11.2)	磐田市 1,721,102 (11.0)	湖西市 1,671,605 (10.6)	富士市 1,279,087 (8.1)	掛川市 1,046,428 (6.7)
H26	16,050,724 (54.0)	浜松市 2,005,774 (12.5)	磐田市 1,786,971 (11.1)	静岡市 1,758,416 (11.0)	湖西市 1,750,419 (10.9)	富士市 1,367,681 (8.5)	掛川市 1,067,364 (6.6)
H27	16,412,474 (51.0)	浜松市 1,823,450 (11.1)	静岡市 1,733,115 (10.6)	磐田市 1,731,683 (10.6)	湖西市 1,631,556 (9.9)	富士市 1,448,538 (8.8)	掛川市 1,058,298 (6.4)
H28	16,132,178 (50.3)	静岡市 1,830,915 (11.3)	浜松市 1,803,602 (11.2)	磐田市 1,567,485 (9.7)	湖西市 1,555,980 (9.6)	富士市 1,357,114 (8.4)	掛川市 1,020,037 (6.3)
H29	16,787,113 (49.7)	静岡市 1,979,079 (11.8)	浜松市 1,950,092 (11.6)	湖西市 1,525,807 (9.1)	磐田市 1,510,142 (9.0)	富士市 1,381,646 (8.2)	掛川市 1,095,842 (6.5)
H30	17,539,461 (49.9)	静岡市 2,122,375 (12.1)	浜松市 2,011,338 (11.5)	湖西市 1,732,725 (9.9)	磐田市 1,454,377 (8.3)	富士市 1,432,262 (8.2)	牧之原市 1,120,123 (6.6)
R元	17,131,801 (50.7)	静岡市 2,119,931 (12.4)	浜松市 1,963,144 (11.5)	湖西市 1,671,392 (9.8)	磐田市 1,491,973 (8.7)	富士市 1,425,048 (8.3)	掛川市 1,150,566 (6.7)

資料:令和元年は静岡県「2020年工業統計調査(速報)」

- ※ 平成19年以前は、富士市分に旧富士川町分を計上していない
- ※ 平成17年、20年は、全事業所の数値
- ※ 「静岡県」欄のカッコ内は上位5市の占める割合

## II 富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の概要

### 1 富士市域の製紙のあけぼの

富士山南西麓から富士川上流にかけての地域では山村部の生業の一つとして紙すきが行なわれ、江戸時代中頃には江戸に広く流通するようになり、「駿河半紙」としてブランド化し隆盛した。駿河半紙は三極（みつまた）を原料としたしなやかな紙質で人気を博し、現在の富士宮市域を中心に盛んに生産され多大な利益をあげていたが、富士市域においては主流産業にならなかった。

明治時代になると江戸時代の宿駅制度が廃止され、宿場に従事する馬子（まご）等の大量失業が懸念された。これに備えて吉原宿出身の内田平四郎は、明治2年（1869年）に愛鷹山西麓の内山地区を開墾して三極の栽培を手掛けた。これには、明治政府の殖産興業政策の中に製紙が含まれていたことが影響したと考えられる。

明治12年（1879年）、伝法村の栢森貞助（かやもりていすけ）らは手すき和紙工場「鈎玄社（こうげんしゃ）」を設立し、製造過程で苛性ソーダなど化学薬品を使用した紙を製造した。それまでの和紙の製造が家内生産だったのに対して工場生産の考え方を導入した点や、化学薬品など洋紙技術を採用入れた点は、富士地区の工場経営の先駆けとなった。

明治20年（1887年）、芦川万次郎は、今泉の湧水地帯（通称ガマ）に手すき和紙工場を設立した。生産技術の改良によって経営が軌道に乗り、これを契機に明治20～30年代にかけて今泉ガマを中心に相次いで手すき和紙工場が設立され、富士市の製紙産業の基盤となった。

### 2 日本の製紙業の興りと富士市域における発展

明治初期、政府の海外視察団が帰国すると産業の近代化が進み、明治5年（1872年）に東京の日本橋に有恒社が、明治6年（1873年）に東京の王子に抄紙会社（後の王子製紙）が設立され、日本における洋紙生産が開始された。当初は手探りで操業が続いたが、洋紙生産技術が浸透して、明治20年代になると経営が安定し、さらなる発展を遂げるため全国各地へと工場が進出した。静岡県内においては明治22年（1889年）に製紙会社（抄紙会社が改組）が周智郡気多村（現浜松市天竜区）でパルプ設備を稼動した。

富士地区は生産用水と工場の動力源としての豊富な水資源が注目され、明治23年（1890年）に東京の富士製紙会社が潤井川流域の入山瀬に工場を建設し、富士市域で初めて洋紙の製造を行った。翌年には日本で初めて自社製の碎木パルプ（GP）の生産に成功し、安価で良質な更紙（ざらし）を抄造した。

そのようななか、富士製紙の技術者である三木慎一は辞職して、明治27年（1894年）に原田村に小工場を建てて独自に洋紙の製造を始めた。三木の挑戦は、それまでのように大資本でなくても製紙工場設立が可能であることを在地の小資本家や技術者たちに示し、後の製紙工場林立の礎となった。

洋紙生産工場の富士地区進出は、在来の和紙生産工場にも大きな影響を与えた。それまで手すきだった和紙の生産は、洋紙生産に倣って機械化に取り組み、生産性の向上が図られた。特に明治27年（1894年）、原田の滝川流域に設立された原田製紙株式会社は、ボロと古網にネリを加えた特異なナプキン原紙を抄造し、機械の開発導入を進めて大量生産を可能とした。吉原の佐野熊次郎が原田製紙のナプキン原紙を使用して加工業を始めると人気を集め、原田製紙と佐野が協力して加工ナプキンの生産体制を整え、海外へ輸出するまでに至った。明治43年（1910年）には、イギリスで開催された日英ロンドン博覧会で銀賞を受賞し、その技術は世界に通用する程となった。

機械すき和紙生産の草分け的存在となった原田製紙からは多くの有能な技術者が輩出され、岳南地区の製紙業界に送り出された。大正時代になると手すき和紙工場は激減し、機械すきの製紙工場が続々と誕生したが、こうした技術者たちがその原動力となった。

大正3年（1914年）の第一次世界大戦参戦によりヨーロッパなどからの紙・パルプの輸入が途絶えた結果、国内の製紙業界は好景気となり、富士地区では地元の中小資本の製紙会社が多数創業した。しかし、好況の反動により大正9年（1920年）には経済が一気に冷え込み、工場を閉鎖したり倒産したりする会社が続出した。一方で、各社間の競争によって抄紙機の改良などの技術革新が図られ、不況下でも操業を続けられる会社も少なくなかった。

その後も関東大震災等で大正後期から昭和初期にかけて景気は悪化し社会が混乱したが、民衆は社会の混乱の安息を雑誌などに求め、1冊1円の安価な全集ものが好評を博した『円本（えんぼん）ブー

ム』とも相まって出版を通じて紙がよく売れるようになったため、昭和初期には製紙工場がいくつも設立されるなど、製紙業界は不況の影響を比較的受けなかった。

このころまでに創業した数多くの製紙会社が、今日の「紙のまち」としての富士市を形成する土台となったといえる。

### 3 戦後の製紙業

昭和 16 年（1941 年）に太平洋戦争が始まると、製紙は戦争には不要な産業と見なされて、比較的大きな工場は軍需工場に変えられた。また、中小の工場は休業させられたり、他の工場に統合されたりしたため、紙産業は停滞した。

終戦を迎えると各産業の復興が始まったが、戦時の軍需工場化や抄紙機の供出の影響により、工場の復元作業からの立て直しとなった。全国的には戦火による工場の被害から復元に困難を要する企業が多かったが、富士市域の工場の多くは被害を免れたため、製紙産業の復興は早かった。

戦後すぐに出版ブームが起こり紙の需要が高まったが、原料のパルプが不足していたため、出版業界は供給を間に合わせるために、出版用としては紙質の落ちる仙貨紙（せんかし）を大量に用いた。それまで片面仙貨紙のみであったが、昭和 23 年（1948 年）には両面仙貨紙が開発され人気を博した。その後しばらく景気の浮き沈みに各社は左右されながらも、昭和 30 年代を過ぎると全体的に安定した経営が保たれるようになった。富士地域は、生産量においても、また、板紙生産に新聞古紙を利用する再生紙生産に日本で最初に取り組むなど、製紙技術においても製紙産業の一大拠点となった。

その一方で、環境汚染が深刻化し、昭和 40 年代の田子の浦港のヘドロは大きな社会問題となった。行政機関の協力と業界の自主努力により昭和 50 年代には一応の解決をみたが、その後の製紙業界の環境に対する取組に大きな影響を与えた。

### 4 近況

昭和 48 年、54 年の 2 度にわたるオイルショック、昭和 54 年の木材チップの高騰等、供給面における制約や、国内経済の成長率の鈍化、樹脂等他素材による代替等、需要面における制約があったものの、紙需要は拡大基調で推移した。

しかし、いわゆるバブル経済の崩壊後の景気後退、人口減少や OA 化の進展による紙需要の減少、生産拠点の海外移転などによって、平成 30 年（2018 年）の富士市における紙・パルプの製造品出荷額は 4,734 億 7,728 万円とピーク時の平成 3 年（1991 年）（6,035 億 1,444 万円。旧富士川町を含まない。）から大幅に減少している。

日本の製紙業は、世界トップクラスの高度な古紙再生技術やばい煙、水質汚濁対応などの高い環境技術を持つ一方で、高い製造コストや生産設備の老朽化などの課題を抱えていると言われている。その一方で製紙の際に排出されるペーパーラグジについても、産業廃棄物であるために、その排出及び処理について、大きな課題であったが、平成 30 年の処理状況においては、最終的な焼却灰の再利用率が 99.9%に到達した。

また、典型的な内需型産業であった製紙業であるが、国内市場の縮小を見越した海外市場の開拓のために、新たに海外に生産拠点を設ける企業が増えつつある。富士市においても、大手のみならず中堅製紙メーカーの海外展開の動きが注目されている。

さらに近年では、製紙技術にも深く関連するセルロースナノファイバー（CNF）についての技術開発や製品化も進んでおり、サプライヤーである製紙会社とユーザーである異業種の製造業のマッチングも起きている。

## 5 地場産業（パルプ・紙産業）の年次別推移（従業者4人以上の事業所）

	静岡県			富士市		
	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
H19	576	21,195	93,711,542	249	9,436	49,100,677
H20	564	20,153	93,846,177	249	9,557	52,351,782
H21	540	19,024	82,331,468	245	9,319	45,580,418
H22	537	18,647	81,892,972	245	8,966	44,876,348
H23	536	18,518	82,297,974	224	8,705	44,072,640
H24	510	17,697	76,894,375	226	8,188	39,318,554
H25	506	17,449	73,230,568	227	8,250	37,632,117
H26	491	17,762	76,424,718	220	8,106	38,481,984
H27	496	18,215	81,774,356	217	8,467	43,129,341
H28	467	18,266	81,718,565	208	8,521	44,295,044
H29	469	18,612	83,331,713	209	8,497	45,227,433
H30	467	18,709	85,753,884	205	6,627	47,347,728

※平成19年以前の数値に旧富士川町分は含まない。

※平成21年の数値は日本標準産業中分類改訂による変更後の数値

※各年版 工業統計調査結果（静岡県、富士市）、平成24・28年 経済センサス活動調査結果を基に作成

## 6 平成30年地場産業（パルプ・紙産業）の内訳（従業者4人以上の事業所）

	静岡県			富士市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
14 パルプ・紙・紙加工品	467	18,709	85,753,884	205	8,627	47,347,728
1411 パルプ	3	212	542,826	1	24	
1421 洋紙・機械すき和紙	44	3,254	18,117,608	36	2,185	12,829,291
1422 板紙	12	1,660	18,975,659	9	1,203	13,713,038
1431 塗工紙	22	1,300	5,266,118	10	503	1,575,767
1432 段ボール	3	31	63,698	1	4	X
1433 壁紙・ふすま紙	3	95	80,761	1	42	X
1441 事務用・学用紙製品	11	355	1,567,772	4	87	253,410
1442 日用紙製品	—	—	—	—	—	—
1449 その他の紙製品	8	114	149,789	4	78	102,157
1451 重包装紙袋	4	45	71,100	—	—	—
1452 角底紙袋	6	117	229,674	2	50	X
1453 段ボール箱	109	2,881	8,648,076	9	165	455,077
1454 紙器	61	2,157	6,033,166	14	392	1,320,932
1499 その他のパルプ・ 紙・紙加工品	181	6,488	26,007,637	114	3,894	16,924,026
秘匿欄	—	—	—	—	—	174,030

資料：静岡県「2019年工業統計調査報告書」、富士市「2019年工業統計調査結果」

※「—」は該当の数値なし、「X」は秘匿箇所

## 7 富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の位置

### (1) 事業所数

49社 55工場（令和2年12月現在） ※富士市の調査で把握できた数

### (2) 令和2年品種別生産量及び構成比

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（%）
製紙パルプ	クラフトパルプ	6,605,251	89,541	1.4
	さらし	5,662,062	0	0.0
	未ざらし	943,189	89,541	9.5
	サーモメカニカルパルプTMP	247,133	0	0.0
	リファイナークラウンドパルプRGP	107,458	0	0.0
	碎木パルプGP	79,245	0	0.0
	その他製紙パルプ	17,718	0	0.0
	合計	7,056,805	89,541	1.3

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（%）
紙	新聞巻取紙	2,061,404	0	0.0
	印刷・情報用紙	5,877,382	116,523	2.0
	非塗工印刷用紙	1,393,596	96,351	6.9
	上級印刷紙	888,998	1,214	0.1
	中級印刷紙	216,911	0	0.0
	下級印刷紙	265,191	76,110	28.7
	薄葉印刷紙	22,496	19,027	84.6
	微塗工印刷用紙	765,386	0	0.0
	塗工印刷用紙	2,417,575	1,746	0.1
	アート紙	32,949	1,036	3.1
	コート紙	1,312,108	0	0.0
	軽量コート紙	897,222	0	0.0
	その他塗工印刷紙	175,296	710	0.4
	特殊印刷用紙	174,054	14,396	8.3
	色上質紙	54,699	0	0.0
	その他特殊印刷用紙	119,355	14,396	12.1
	情報用紙	1,126,771	4,030	0.4
	複写原紙	108,368	3,993	3.7
	フォーム用紙	198,115	0	0.0
	PPC用紙	672,284	0	0.0
	情報記録紙	123,670	17	0.0
	その他情報用紙	24,334	20	0.1
	包装用紙	759,008	54,472	7.2
	未ざらし包装紙	513,772	44,183	8.6
	重袋用両更クラフト紙	290,573	28,482	9.8
	その他両更クラフト紙	211,249	13,095	6.2
	その他未ざらし包装紙	11,950	2,606	21.8
さらし包装紙	245,236	10,289	4.2	
純白ロール紙	55,346	0	0.0	
さらしクラフト紙	171,738	7,107	4.1	
その他さらし包装紙	18,152	3,182	17.5	

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（％）
紙	衛生用紙	1,832,949	574,417	31.3
	ティッシュペーパー	403,381	73,533	18.2
	トイレットペーパー	1,099,581	396,788	36.1
	タオル用紙	236,804	51,812	21.9
	その他衛生用紙（生理用紙含む）	93,183	52,284	56.1
	雑種紙	681,356	92,483	13.6
	工業用雑種紙	639,243	88,994	13.9
	加工原紙	534,710	73,729	13.8
	電気絶縁紙	13,808	0	0.0
	その他工業用雑種紙	90,725	15,265	16.8
	家庭用雑種紙	42,113	3,489	8.3
	合計	11,212,099	837,895	7.5
	板紙	段ボール原紙	9,700,518	976,016
ライナー		5,923,959	490,689	8.3
外装用（クラフト）		4,241,792	333,749	7.9
外装用（ジュート）		1,586,386	156,940	9.9
内装用		95,781	0	0.0
中芯原紙		3,776,559	485,327	12.9
紙器用板紙		1,377,608	411,852	29.9
白板紙		1,261,667	410,763	32.6
マニラボール		455,977	144,725	31.7
白ボール		805,690	266,038	33.0
黄・チップ・色板紙		115,941	1,089	0.9
雑板紙		578,679	45,066	7.8
建材原紙		185,263	0	0.0
紙管原紙		263,696	0	0.0
その他板紙		129,720	45,066	34.7
合計		11,656,805	1,432,934	12.3

品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（％）
紙・板紙合計	22,868,904	2,270,829	9.9

資料：経済産業省「2020年経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」、  
 富士市「紙・パルプ生産量調査」

## 8 製紙機械産業の概要

### (1) 発展過程と現状

製紙・パルプ産業が発達し始めた明治中期頃から製紙機械に携わる工場が静岡県に勃興した。この当時は、他の機械製造と兼業する業者が主で、専門業者が出現したのは大正末期からであるが、本格的な製紙機械の専門メーカーの誕生は、戦後になってからである。戦後、静岡県の製紙機械工業は、従来の工作機械の製造技術、鋳物技術などを生かして、紙・パルプ産業の盛んな富士地区を中心に発達し、以後、文化の発達とともに紙の需要が高まる中で、研究開発が着々と進められ、原質調整機械、抄紙機の開発などにより、わが国の製紙機械工業の発展に大きく寄与した。

こうした背景の中で、平成30年の富士市のパルプ装置・製紙機械産業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等はそれぞれ全国の32.5%、30.9%、30.0%を占め、富士市は全国有数の製紙機械工業の集積地になっている(平成30年全国パルプ装置・製紙機械産業の事業所数120所、従業者数2,737人、製造品等出荷額695億4千3百万円)。

### (2) 静岡県のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移(従業者4人以上の事業所)

年次	事業所数	従業者数	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
H24	63	1,057	494,537	1,013,040	1,992,314
H25	65	1,355	686,616	1,220,399	2,520,285
H26	58	1,287	610,545	1,440,936	2,840,274
H27	66	1,231	537,072	1,605,854	2,897,133
H28	55	979	430,656	1,112,887	2,245,845
H29	49	936	445,168	1,227,230	2,268,572
H30	50	1,105	570,066	1,656,597	2,783,180

資料：静岡県「2019年工業統計調査結果」

### (3) 富士市のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移(従業者4人以上の事業所)

年次	事業所数	従業者数	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
H24	44	613	288,800	669,476	1,227,726
H25	50	941	509,867	887,792	1,857,792
H26	46	920	436,782	1,055,756	2,050,736
H27	50	902	392,428	1,264,407	2,087,877
H28	44	665	327,313	696,259	1,404,689
H29	40	629	338,847	947,171	1,620,574
H30	39	846	453,175	1,316,890	2,090,254

資料：富士市「2019年工業統計調査結果」

### Ⅲ 富士市の立地企業及び団地の概要

#### 1 主要企業、工業団地等

(1) 産業分類別の事業所数、敷地面積（従業者30人以上の事業所）

産業中分類	静岡県					富士市				
	事業所数 (事業所)	前年比 (%)	敷地面積 (㎡)	構成比 (%)	前年比 (%)	事業所数 (事業所)	前年比 (%)	敷地面積 (㎡)	構成比 (%)	前年比 (%)
総数	2,386	2.1	58,560,142	100.0	1.1	229	2.6	6,362,363	100.0	△ 1.6
9 食料品	323	2.2	4,019,182	6.9	1.8	22	4.5	366,426	5.8	△ 3.0
10 飲料・たばこ・飼料	64	8.5	1,879,529	3.2	1.4	3	△ 33.3	X	X	X
11 繊維工業	37	5.7	1,028,779	1.8	1.6	2	0.0	X	X	X
12 木材・木製品	23	0.0	835,145	1.4	△15.2	4	0.0	191,486	3.0	△ 19.0
13 家具・装備品	27	3.8	406,384	0.7	△ 3.9	—	—	—	—	—
14 パルプ・紙	167	4.4	4,658,120	8.0	△ 0.1	76	10.5	2,746,834	43.2	△ 2.2
15 印刷	53	△ 3.6	509,346	0.9	△ 5.0	2	0.0	X	X	X
16 化学工業	110	1.9	6,208,852	10.6	△ 2.9	19	0.0	1,091,822	17.2	△ 1.2
17 石油・石炭	4	33.3	99,884	0.2	0.0	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品	217	2.4	3,816,541	6.5	11.9	21	△ 4.8	260,773	4.1	3.7
19 ゴム製品	31	△ 3.1	875,083	1.5	3.8	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品	3	0.0	6,387	0.0	25.8	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	28	3.7	1,592,917	2.7	2.6	2	50.0	74748	1.2	X
22 鉄鋼業	36	5.9	857,693	1.5	△ 3.4	7	14.3	100,768	1.6	1.6
23 非鉄金属	35	0.0	2,275,101	3.9	△ 5.4	—	—	—	—	—
24 金属製品	194	6.6	2,434,064	4.2	6.9	12	△ 8.3	106,155	1.7	3.1
25 はん用機械	61	△ 7.6	1,534,918	2.6	△ 7.4	7	0.0	262,484	4.1	0.8
26 生産用機械	203	1.0	4,147,103	7.1	3.5	16	△ 6.3	173,562	2.7	△ 1.9
27 業務用機械	51	4.1	828,397	1.4	5.0	6	0.0	29,154	0.5	0.0
28 電子部品・デバイス	62	△ 1.6	855,128	1.5	△ 0.6	5	0.0	30,013	0.5	0.0
29 電気機械	179	0.0	4,139,407	7.1	11.1	10	0.0	42,272	0.7	5.9
30 情報通信機械	15	△16.7	321,737	0.5	△14.4	—	—	—	—	—
31 輸送機械	405	3.1	14,116,599	24.1	0.6	12	△ 8.3	766,900	12.1	1.0
32 その他	58	0.0	1,113,846	1.9	△ 6.0	3	0.0	23,696	0.4	0.0
秘 匿	—	—	—	—	—	—	—	95,270	1.5	△ 12.7

資料：静岡県「2019年工業統計調査報告書」、富士市「2019年工業統計調査結果」

※ 下線部は重化学工業 ※ 「—」は該当の数値なし、「X」は秘匿箇

## (2) 主要進出企業の状況

名称	業種	所在地	操業開始	旧名称
旭化成(株) 富士支社	化学	鮫島	S 34	
(株)ADEKA 富士工場	化学	富士岡	S 34	旭電化工業(株)
トーヨーカラー(株) 富士製造所	化学	天間	S 37	東洋インキ製造(株)、 トーヨーケム(株)
日本食品化工(株) 富士工場	食料品	田島	S 39	
宇部興産建材(株) 富士工場	窯業・土石	五貫島	S 39	ウベボード(株)
興和(株) 富士工場	化学	大野新田	S 39	
ビヨンズ(株) 本社工場	輸送用機械	大淵	S 42	(株)後藤製作所
三菱商事ライフサイエンス(株) 富士工場	化学	中河原	S 42	東和化成工業(株)、 三菱商事フードテック(株)
ポリプラスチック(株) 富士工場	化学	宮島	S 43	
ジヤトコ(株) 本社工場	輸送用機械	今泉	S 45	ジヤトコ・トランステクノロジー(株)、ジヤトコ(株)、日本自動車変速機(株)、日産自動車(株)
J F E 商事コイルセンター(株) 静岡工場	鉄鋼	大淵	S 46	静岡スチール(株)
U C C 上島珈琲(株) 富士工場	飲料	増川	S 50	
静甲(株) 富士川工場	機械	北松野	S 63	
(株)小糸製作所 富士川工機工場	機械	中之郷	H 4	
(株)パイオラックス 富士工場	輸送用機械	南松野	H10	
ユニプレス(株) 富士事業所	輸送用機械器具	青葉町	H10	山川工業(株)と大和工業(株)が合併
東芝キャリア(株) 富士事業所	電気機械器具	蓼原	H11	(株)東芝
日本製紙(株) 富士工場	パルプ・紙・ 紙加工品	比奈・蓼原	H15	大昭和製紙(株) 他と合併
白石工業(株) 富士川工場	食料品	中之郷	H19	
パーパス(株) 本社工場	金属製品	西柏原新田	H23	高木産業(株)
興国インテック(株) 富士工場	ゴム	大淵	H24	
ポラテック富士(株) 富士工場	木材	大淵	H25	
日医工(株) 静岡工場	化学	中河原	H26	日医工ファーマテック(株)、 ステラスファーマテック(株)
ケンコーマヨネーズ(株) 静岡富士 山工場	食料品	大淵	H26	
(株)加藤美蜂園本舗 富士工場	食料品	大淵	H28	
クマイ化学工業(株) 静岡工場	化学	中之郷	H29	イハラケミカル工業(株)

※既存事業所の新・増設は除く。

※合併・名称変更した場合は、変更年を記載

(3) 主要企業の立地状況（従業者 300 人以上）

「規模（従業員数）」欄の①は 1,000 人以上、②は 500 人以上 1,000 人未満、③は 500 人未満である。

令和 2 年 12 月末時点

業種	事業所名	規模 (従業員数)	所在地	主要製品名
化学工業	旭化成(株) 富士支社	①	鮫島 2-1	中空糸状ろ過膜、電子材料、感光性樹脂
電気機械器具製造業	東芝キャリア(株) 富士事業所	①	蓼原 336	空調機器、コンプレッサ・インバータ、コールドチェーン機器・換気扇
輸送用機械器具製造業	ジヤトコ(株) 本社工場	①	今泉 700-1	自動車用変速機、自動車用変速機部品、自動車用部品
食料品製造業	(株)デイリーはやしや 富士山工場	②	大淵 3800-3	弁当、おにぎり、寿司
化学工業	ポリプラスチック(株) 富士工場	②	宮島 973	ポリアセタール樹脂、ポリブチレンテレフタレート樹脂、液晶樹脂
輸送用機械器具製造業	ユニプレス(株) 富士事業所	②	青葉町 19-1	自動車用トランスミッション部品、精密金型治工具製品
食料品製造業	(株)プライムベーカリー 本社工場	③	南松野 2108-1	調理パン、惣菜軽食、デザート
食料品製造業	(株)ホテイフーズコーポレーション 富士川工場	③	南松野 2500	ペットボトル飲料、缶飲料、やきとり缶詰
パルプ・紙・紙加工品製造業	日本製紙(株) 富士工場	③	比奈 798	段ボール原紙、白板紙
化学工業	興和(株) 富士工場	③	大野新田 332-1	キャベジンコーワ α、アデホスコーワ顆粒、バンテリンコーワ
化学工業	トーヨーカラー(株) 富士製造所	③	天間 400	顔料、オフセットインキ
化学工業	日医工(株) 静岡工場	③	中河原 88	セフトリアキソンナトリウム、ロキソプロフェンナトリウム、トラネキサム酸
金属製品製造業	パーパス(株) 本社工場	③	西柏原新田 201	ガス機器、電子制御機器、情報処理ソフトウェア
輸送用機械器具製造業	ビヨンズ(株) 本社工場	③	大淵 2429-3	自動車部品、金型治工具、金属コーティング各種

(4) 工業団地の概要（令和2年12月末時点）

●富士市浮島工業団地

組合設立 昭和47年9月19日  
 組合所在地 〒417-0826 静岡県富士市中里2626番地の22  
 TEL. 0545-32-2131 / FAX. 0545-32-2199  
 事業年度 昭和47年度～昭和53年度  
 規模 全体面積211,899㎡ 工場用面積144,317㎡  
 業種構成 金属製品4、紙加工3、プラスチック2、化学工業3、電気機械器具2、  
 その他11 計25社  
 ホームページ <http://www.wbs.ne.jp/bt/ukishima/>

立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	所在地	敷地面積 (㎡)	生産品目	操業年
富士フルモールド	33-0069	—	2	中里2626-26	742	機械設計	S51
新興紙工(株)	33-0881	12,000	10	中里2626-21	6,445	包装紙、紙製荷造用 緩衝剤	S51
浜松熱処理工業(株)	32-0215	150,000	35	中里2608-41	3,306	金属部品熱処理	S51
静光電機工業(株)	32-0688	68,000	39	中里2626-23	4,960	配電盤の組立	S51
富士資材加工(株)	32-1617	12,250	13	中里2608-53	4,961	電線用木製巻枠、 金属製品解体加工	S51
(株)スギヤマ	32-2182	100,000	140	中里2608-50	20,775	金属部品切削加工、 銑鉄鑄造	S52
川口印刷工業(株)	32-2181	10,000	3	中里2626-18	827	オフセット印刷	S52
ユニプレス精密(株)	32-2125	353,000	222	中里2608-25	14,889	自動車用トランス ミッション部品製造	S52
梅沢鑄工(株)	32-2177	10,000	35	中里2608-48	3,026	鑄鉄鑄物製造、 発泡模型製造	S52
(株)NLMエカル	054-388- 3555	80,000	11	中里2626-24	7,268	通信機器等収納用函 製造販売	S52
丸一化成(株)	32-0147	20,000	129	中里2626-31	7,208	製紙用助剤、 健康食品	S52
三協化学(株)	32-0128	10,000	6	中里2608-52	1,358	漁網用防藻剤	S52
光洋産業(株)	32-0555	180,000	8	中里2626-17	2,340	接着剤製造	S53

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	所在地	敷地面積 (㎡)	生産品目	操業年
(株)ベイシン	32-1248	10,000	92	中里 2608-34	19,139	自動車・家電 樹脂部品製造	S53
キソー(株)	33-0022	30,000	33	中里 2608-27	6,595	環境洗浄機器、高圧 ポンプの製造販売	S53
杉澤プラスチック 工業(株)	32-2021	10,000	16	中里 2626-20	1,769	合成樹脂射出成型	S53
(株)篠原産業	32-2160	10,000	34	中里 2608-43	12,641	製鋼原料販売	S54
(株)マグナプロセス	32-1146	12,000	2	中里 2626-40	826	企画印刷	S54
ピジョン ホームプロダクツ(株)	32-2151	300,000	123	中里 2608-31	5,457	洗剤・化粧品	S54
ユニプレスモールド(株)	32-2098	457,500	39	中里 2608-73	10,975	自動車樹脂部品製造	S58
(株)セイコー クリエイト	33-0831	44,800	13	中里 2608-39	1,736	産業ロボット設計・施 工、ソフトウェアシス テムの開発	H3
(株)微助人	32-2956	10,000	3	中里 2626-25	745	看板製作	H5
(株)TOKAI 容器検査部	32-2133	1,400,000	33	中里 2608-58	6,600	LPガス容器検査	H6
(株)富士鋳物商事	32-2182	15,000	2	中里 2608-50	(株)スギ ヤマ敷 地内	銑鉄鋳造用資材の購 入・製造	H18
富士大洋(株)	30-6455	10,000	16	中里 2608-51	3,308	原紙平版及び小巻加工	H30

●駿河金属工業団地

組合設立 昭和55年4月1日  
 組合所在地 〒416-0946 静岡県富士市五貫島847番地の4  
 TEL. 0545-64-1166 / FAX. 0545-64-1166  
 事業年度 昭和48年度～昭和49年度  
 規模 全体面積21,643㎡ 工場用面積20,458㎡  
 業種構成 一般機械器具7、金属製品5、その他1 計13社

立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	本社所在地	敷地面積 (㎡)	生産品目	操業年
(株)大成鉄工所	61-2318	25,000	10	五貫島790-2	1,913	紙加工機製造	S55
一富正(株)	63-5395	10,000	14	五貫島770-24	492	機械部品加工、機械製作	S55
(株)三杉製作所	63-4454	5,000	22	五貫島770-21	1,440	金型、治具製造修理	S55
(有)みくに工業	63-4457	9,805	7	五貫島770-9	927	プレス加工 精密板金加工	S55
(株)豊島精工	63-0154	10,000	5	五貫島770-23	379	機械部品切削加工	S55
東海シーレックス(株)	61-5659	10,000	11	五貫島770-8	2,452	産業機械製作	S55
(株)大村鉄工所	63-3261	10,000	7	五貫島770-11	1,282	機械製缶	S55
(有)森島工業	61-2951	10,000	6	五貫島770-1	968	鉄骨、鋼構造物	S55
(株)仁藤組	61-1143	20,000	12	本市場町1027	970	鉄骨、総合建設業	S55
(株)鈴昇	61-8497	15,000	62	五貫島777	2,023	鋼板溶断、 シャーリング	S55
(株)笠井鉄工所	61-0061	10,000	1	五貫島770-5	3,178	貸工場	
エスケイ エンジニアリング(株)	03-3843 -2449	15,000	3	東京都台東区 元浅草1-8-7	4,746	貸工場	
富士朝日工業(株)	61-0155	10,000	1	中島170	873	貸工場	

●富士グリーン工業団地

組合設立 昭和62年4月1日  
 組合所在地 〒417-0801 静岡県富士市大淵 4527 番地の 21  
 TEL. 0545-36-2200 / FAX. 0545-36-2611  
 事業年度 昭和63年度～平成2年度  
 規模 全体面積 92,606 m<sup>2</sup> 工場用面積 52,937 m<sup>2</sup>  
 業種構成 金属製品3、一般機械2、食料品2、電気機械2、木材木製品1、その他3  
 計13社  
 ホームページ <http://www.siz-sba.or.jp/fujigreen/>

立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	本社所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	生産品目	操業年
(株)ニッター	36-0151	12,000	4	大淵 4527-4	7,030	非鉄金属製造業	H 2
(株)エイペックス	36-2111	20,000	17	大淵 4527-6	4,244	電気機械器具 製造業	H 2
(有)清水屋食品	36-2555	3,000	15	大淵 4527-15	1,855	食料品製造業	H 2
(株)三協製作所	36-0177	10,000	9	大淵 4527-14	2,178	金属製品製造業	H 2
ビヨンズ(株)	36-0112	10,000	10	大淵 2429-3	3,905	金属製品製造業	H 2
(株)ガルス	36-2210	10,000	8	大淵 4527-9	1,011	リネンサプライ業	H 2
(有)大石塗装	36-2510	10,000	6	大淵 4527-18	1,711	金属製品塗装業	H 2
富士木材(株)	36-2266	50,000	21	大淵 3800-8	8,356	木材木製品 製造業	H 2
(株)かつまた	36-2418	10,000	40	大淵 3478-1	8,233	食料品製造業	H 2
キソー(株) 三生医薬(株)	33-0023	30,000	111	中里 2608	8,794	医薬品製造業	H 2
フジエンタープライズ(株)	36-2800	10,000	14	大淵 4527-16	1,656	事務器部品 製造業	H 2
東工電機(株)	35-2727	10,000	4	大淵 4527-17	2,382	電気機械器具 製造業	H 2
タイヨーパッキング(株)	35-2975	10,500	8	荒川区東日暮里 1-26-5	1,782	電子部品製造業	H 8

●富士山フロント工業団地

完 成 平成 21 年 9 月

所 在 地 静岡県富士市大淵字城山、元篤地内

規 模 全体面積 425,787 m<sup>2</sup> 工場用面積 360,579 m<sup>2</sup>

業 種 構 成 道路貨物運送業 1、倉庫業 1、食料品製造業 5、木材・木製品製造業 1、パルプ・紙・紙加工品製造業 1、印刷・同関連業 1、プラスチック製品製造業 2、金属製品製造業 3、業務用機械器具製造業 1 計 16 社

立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	本社所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	生産品目	操業年
(有)増田製作所	37-1700	5,000	68	大淵 3800-1	12,259	金属製品	H22
エフ・シー・アイ(株)	35-3568	50,000	83	大淵 3800-12	19,572	プラスチック製品	H23
(株)セキノ興産	37-0715	92,000	36	富山市水橋 開発 277-12	16,886	金属製品	H23
ひかり(株)	37-1913	10,000	50	大淵 3800-9	10,511	食料品	H24
町田食品(株)	35-7780	25,000	36	久沢 269-1	13,239	食料品	H24
富士木材(株)	36-1188	50,000	45	大淵 3800-8	10,575	紙加工品	H25
ポラテック富士(株)	37-1192	30,000	81	大淵 3800-7	71,058	木材・木製品	H25
鈴与(株)	35-5811	1,000,000	100	静岡市清水区 入船町 11-1	35,863	倉庫業	H25
(株)日立物流中部	37-2211	100,000	230	名古屋市中区 錦 2-14-21	32,793	一般貨物自動車 運送業	H25
(株)デイリーはやしや	37-2400	83,000	436	松本市和田南 西原 4010-28	21,089	食料品	H25
ケンコーマヨネーズ(株)	37-1500	5,424,030	163	東京都杉並区高 井戸東 3-8-13	37,309	食料品	H26
(株)P'S ネットワーク	35-7300	10,000	44	大淵 3800-10	12,045	オフセット印刷	H26
(有)村松鉄工所	36-0400	3,000	29	大淵 3800-51	10,005	金属製品	H26
富士プラスチック(株)	37-2626	10,000	88	大淵 3800-52	8,580	プラスチック製品	H27
(株)伊藤製作所	36-0330	10,000	184	大淵 3800-16	21,100	業務用機械器具	H27
(株)加藤美蜂園本舗	37-1182	49,500	25	東京都台東区 千束 1-1-5	27,689	食料品	H28

## IV 富士市の港湾の概要

### 1 港湾・貿易

#### (1) 田子の浦港の沿革

古くは「吉原湊」と呼ばれた田子の浦港は駿河湾の最奥部にあり、富士・愛鷹山麓の南を流れる沼川と潤井川の合流点に建設された「堀込式人工港湾」で、昭和 33 年から 10 余年の歳月と総工費 130 億円をかけて完成した。

岳南地域は、江戸時代には「駿河半紙」の特産地として名高く、近代になると製紙・パルプ工業などの軽工業が発達した。戦後は、食品加工・化学繊維・自動車・電気機械などの大企業が進出し、加えて関連中小企業の新設や設備投資が相次ぎ、新しい工業地域として脚光を浴びるようになった。

昭和 30 年代に入り、静岡県は産業基盤整備を重点とした総合開発計画を策定し、この岳南地域に駿河湾臨海工業地帯の拠点となる「工業港」の建設を決定し、昭和 33 年 4 月から第一期築港工事に着手した。

工事は、海底勾配が急峻でしかも太平洋の荒波を直接受ける漂砂海岸という厳しい自然条件の中で進められ、昭和 36 年 8 月に開港、同年 12 月には管理事務所の設置、翌 37 年 2 月待望の第一船入港と、港湾管理体制は着々と整えられ、昭和 41 年 4 月には関税法による開港の指定と、名実ともに国際貿易港として順調に発展してきた。

このような中、平成 13 年に、平成 20 年代前半を目標年次とする港湾計画が策定（改訂）された。この計画に基づき、物流・生産機能の拡充とともに多様化する港湾への要請にも適切に対応していくため、「産業活動を支える物流機能の高度化」と市民生活向上への寄与を目標に掲げ、船舶の大型化等に対応した施設整備が展開され、平成 22 年度には中央 2 号耐震岸壁が完成し、平成 29 年度には中央航路・泊地の水深 12m 化が完成した。

なお、令和 2 年における入港船舶は 1,497 隻、取扱貨物は 302 万トンを数え、県内港湾全体貨物量の約 12%、県内第 2 位の位置を占めている。

一方、工業都市として栄えてきた富士市は、かつて、港内に工場排水による汚泥堆積を引き起こした。このため、昭和 46 年 4 月からの 4 次におたる浚渫作業により港湾施設の機能回復が進められ、昭和 55 年度に堆積汚泥は一掃され、港の環境は大幅に改善された。

しかし、平成 14 年に河川から流入する土砂と岳南排水路から流入する S S（浮遊物質）などにより、堆積物にダイオキシン類が含有していることが確認されたため、現在も適切な浚渫除去が行われている。

また、この浚渫工事により生じた土砂等を盛土材として利用し整備が進められていた「ふじのくに田子の浦みなと公園」は、平成 25 年 6 月に一部が供用開始され、平成 30 年 2 月 23 日に完成した。

鈴川海岸においては、高潮・津波対策として既存の堤防を補強し、併せて緑地を整備する「鈴川海岸整備事業」が地元住民の理解と協力のもと推進され、平成 26 年度に海岸堤防が完成し、平成 31 年 4 月には「鈴川海浜スポーツ公園」の利用が開始された。

## (2) 田子の浦港湾の区域

関係法令	区分	区 域	面積 (m <sup>2</sup> )
港 湾 法	港湾区域	中丸三角点 (4.9メートル) から67度2,830メートルの点 (E=138° 41' 44"、N=35° 08' 32") を中心として1,335 メートルの半径を有する円内の海面並びに沼川河合橋、和田川 吉原橋、潤井川潤井川橋(田子の浦港高架橋)及び江川江川水門 各下流の河川水面、並びに富士市依田橋字三ツ又、字市川、富 士市鈴川字堤外白倉及び富士市前田字舞台地先水面	1,383,504
都市計画法	臨港地区	平成28年3月1日静岡県告示第251号による(計画図のとおり)	1,207,000
港 則 法	港 域	沼川東海道本線鉄道橋南西端を中心とする半径1,600メートル の円内の海面並びに沼川沼川新橋、和田川新和田川橋、潤井川 田子の浦橋及び江川江川水門各下流の河川水面	1,096,300

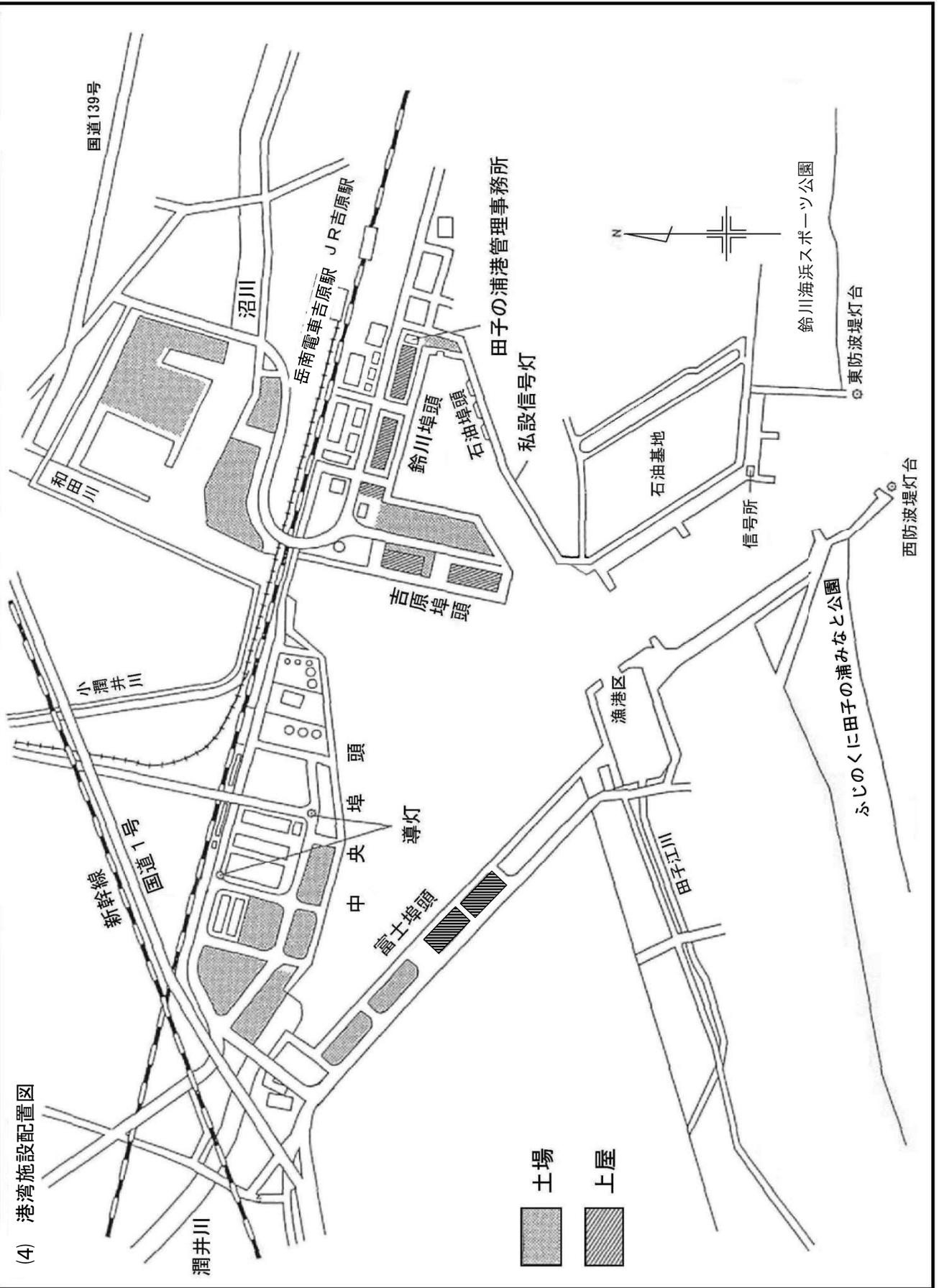
## (3) 航路標識及び公共、専用岸壁

名 称	管理者	位 置	灯色 燭光数	灯質周期 明暗	光達距離	灯の高さ
田子の浦港 東防波堤灯台	海上保安庁	E 138-42-00 N 35-08-07	赤色 110カンデラ	明3秒 暗3秒	5.5カイリ	平均水面上 16.40m
田子の浦港 西防波堤灯台	海上保安庁	E 138-41-53 N 35-08-04	緑色 110	明3秒 暗3秒	5.5カイリ	平均水面上 16.40m
田子の浦港 導灯(前灯)	海上保安庁	E 138-41-25 N 35-08-39	緑色 1,400	不動光	10.0カイリ	平均水面上 41.82m
田子の浦港 導灯(後灯)	海上保安庁	E 138-41-19 N 35-08-45	緑色 1,400	不動光	10.0カイリ	平均水面上 48.94m
石油埠頭 私設信号灯	静岡県	E 138-41-59 N 35-08-15	赤色	—	—	平均水面上 12.50m

埠 頭	名 称	けい船能力		延長 (m)	計画水深 (m)	備 考
		船級 D/W	船席			
中央埠頭	中央1号岸壁	30,000	1	240	-12.0	
	中央2号岸壁	30,000	1	240	-12.0	
	中央3~4号岸壁	5,000	2	250	-7.5	
吉原埠頭	吉原1号岸壁	10,000	1	167	-9.0	
	吉原2号岸壁	5,000	1	125	-7.5	
富士埠頭	富士1号岸壁	10,000	1	240	-10.0	
	富士2号岸壁	5,000	1	135	-7.5	
	富士4号岸壁	3,000	1	115	-6.5	
	富士5号岸壁	5,000	1	120	-7.5	
	富士6号岸壁	5,000	1	130	-7.5	
鈴川埠頭	鈴川1~2号岸壁	2,000	2	175	-5.5	
	鈴川3~5号岸壁	2,000	3	310	-5.5	
石油埠頭	石油1~2号岸壁	5,000	1	145m、1基	-7.5	
	石油3号ドルフィン	2,000	1	1基	-5.5	
	石油4号ドルフィン	2,000	1	1基	-5.5	
	石油5号ドルフィン	2,000	1	1基	-5.5	
計			20	2,392 4基		

資料：田子の浦港要覧 2021

(4) 港湾施設配置図



## (5) 令和2年田子の浦港貿易概況

## ア 貿易額

単位：百万円

	田子の浦港				全国港総額		
	令和元年 貿易額	令和2年 貿易額	前年比 (%)	全国 順位	令和元年 貿易額	令和2年 貿易額	前年比 (%)
輸 出	11,398	11,139	97.7	95	76,931,665	68,400,483	88.9
輸 入	24,703	21,493	87.0	84	78,599,510	67,837,102	86.3
輸出入合計	36,101	32,631	90.4	93	155,531,175	136,237,585	87.6

※全国順位は全国138税関中の順位

## イ 輸出 -111億3,852万円-

品目別に見ると、写真用・映画用材料が31億9,730万円（構成比28.7%）で最も多く、以下、精油・香料及び化粧品類22億4,153万円（同20.1%）、鉄鋼くず14億3,331万円（同12.9%）などとなっている。

地域別に見ると、大韓民国が23億4,000万円（構成比21.0%）で最も多く、以下、ベルギー20億3,412万円（同18.3%）、アメリカ合衆国13億487万円（同11.7%）などとなっている。

## ウ 輸入 -214億9,281万円-

品目別にみると、とうもろこしが80億2,348万円（同37.3%）で最も多く、以下、石炭49億6,546万円（構成比23.1%）、パルプ34億2,617万円（同15.9%）などとなっている。

地域別に見ると、アメリカ合衆国が52億5,513万円（構成比24.5%）で最も多く、以下、オーストラリア46億2,893万円（同21.5%）、ブラジル22億836万円（同10.3%）などとなっている。

## 名古屋税関管内（貿易額）

単位：百万円

	清水税関支署内（静岡県）			名古屋税関管内		
	令和元年 貿易額	令和2年 貿易額	前年比 (%)	令和元年 貿易額	令和2年 貿易額	前年比 (%)
輸 出	2,118,111	1,977,741	93.4	18,982,666	16,158,877	85.1
輸 入	1,074,422	957,718	89.1	9,956,678	8,024,927	80.6
輸出入合計	3,192,533	2,935,459	91.9	28,939,343	24,183,804	83.6

資料：名古屋税関資料

※一部速報値を含む

## (6) 田子の浦港海上出入貨物の推移

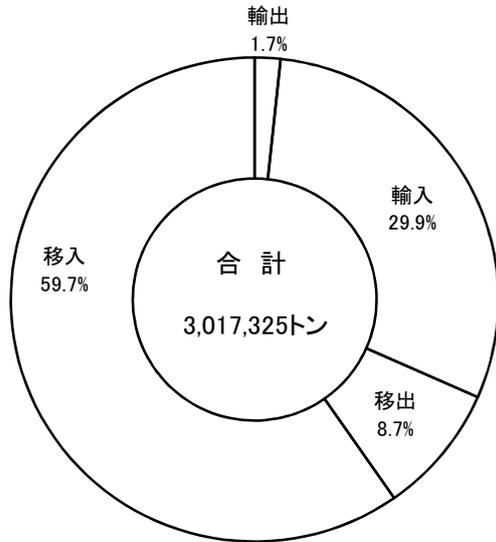
単位:トン

	合計		外貨貨物		内貨貨物		R1 年対比 (%)
	(外内貨計)	輸移出 輸移入	計	輸出 輸入	計	移出 移入	
H16	6,762,098	589,989 6,172,109	1,840,681	99,028 1,741,653	4,921,417	490,961 4,430,456	205.1
H17	6,811,559	563,290 6,248,269	1,841,433	92,953 1,748,480	4,970,126	470,337 4,499,789	206.6
H18	6,511,238	534,024 5,977,214	1,766,963	88,351 1,678,612	4,744,275	445,673 4,298,602	197.5
H19	6,158,088	571,029 5,587,059	1,770,864	95,588 1,675,276	4,387,224	475,441 3,911,783	186.8
H20	5,805,389	614,562 5,190,827	1,478,620	69,668 1,408,952	4,326,769	544,894 3,781,875	176.1
H21	4,733,420	496,860 4,236,560	1,123,968	103,186 1,020,782	3,609,452	393,674 3,215,778	143.6
H22	4,729,963	487,470 4,242,493	1,006,383	89,776 916,607	3,723,580	397,694 3,325,886	143.5
H23	5,081,905	459,176 4,622,729	1,488,477	98,484 1,389,993	3,593,428	360,692 3,232,736	154.2
H24	4,509,863	436,294 4,073,569	1,259,456	108,965 1,150,491	3,250,407	327,329 2,923,078	136.8
H25	3,644,775	418,061 3,226,714	801,449	95,139 706,310	2,843,326	322,922 2,520,404	110.6
H26	3,483,721	382,346 3,101,375	780,419	94,193 686,226	2,703,302	288,153 2,415,149	105.7
H27	3,488,882	360,194 3,128,688	911,477	86,536 824,941	2,577,405	273,658 2,303,747	105.8
H28	3,581,056	361,147 3,219,909	1,078,161	56,854 1,021,307	2,502,895	304,293 2,198,602	108.6
H29	3,601,795	367,453 3,234,342	1,093,235	56,924 1,036,311	2,508,560	310,529 2,198,031	109.3
H30	3,660,525	341,705 3,318,820	1,099,011	52,258 1,046,753	2,561,514	289,447 2,272,067	111.0
R 1	3,296,588	320,716 2,975,872	909,594	56,955 852,639	2,386,994	263,761 2,123,233	100.0
R 2	3,017,325	313,453 2,703,872	953,128	51,392 901,736	2,064,197	262,061 1,802,136	91.5

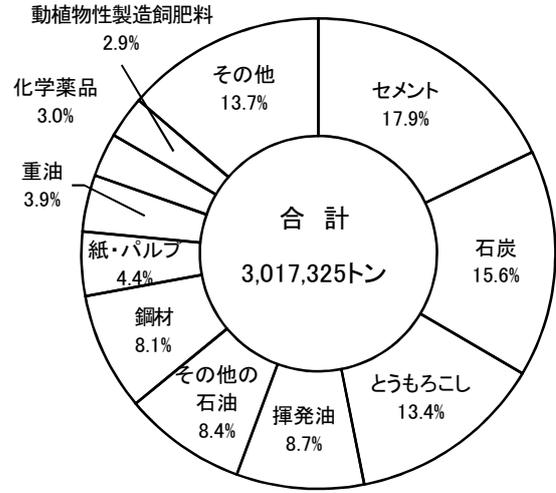
資料：令和2年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

(7) 令和2年田子の浦港海上出入貨物の構成

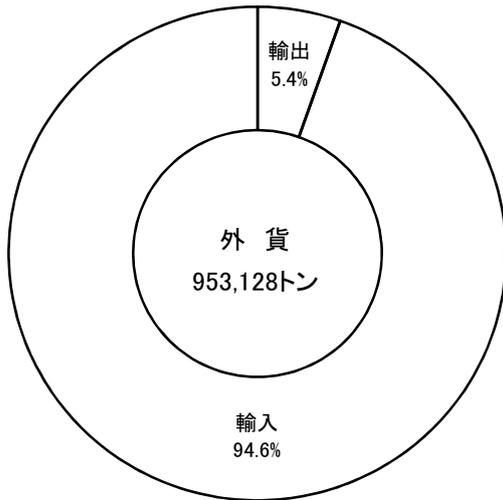
輸移出入の割合(合計)



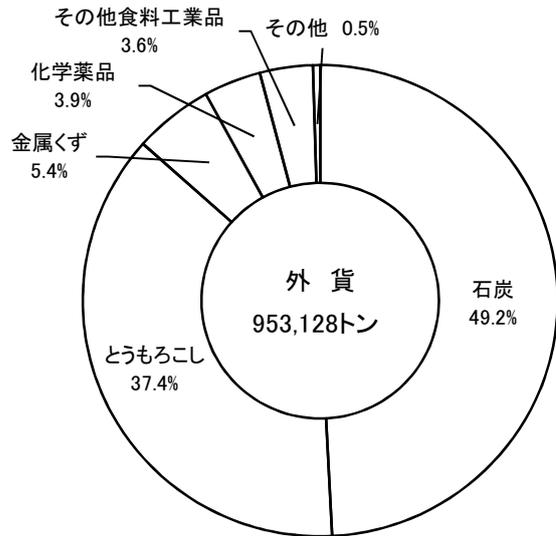
品種別構成(合計)



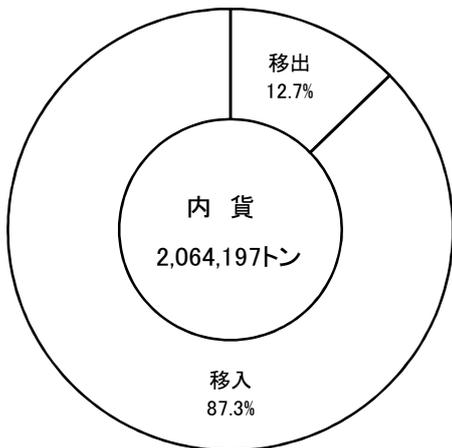
輸出入の割合



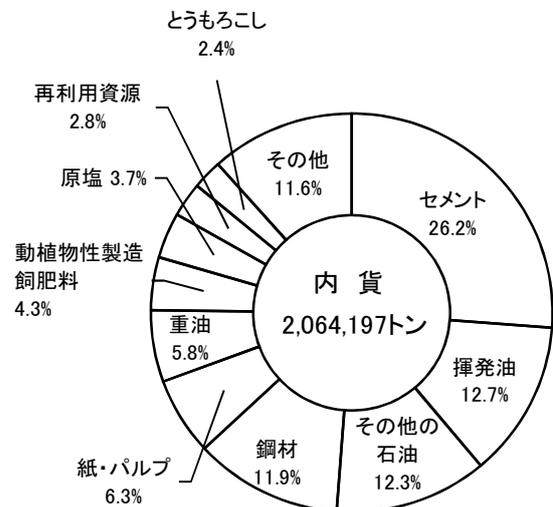
輸出入貨物の品種別構成



移出入の割合



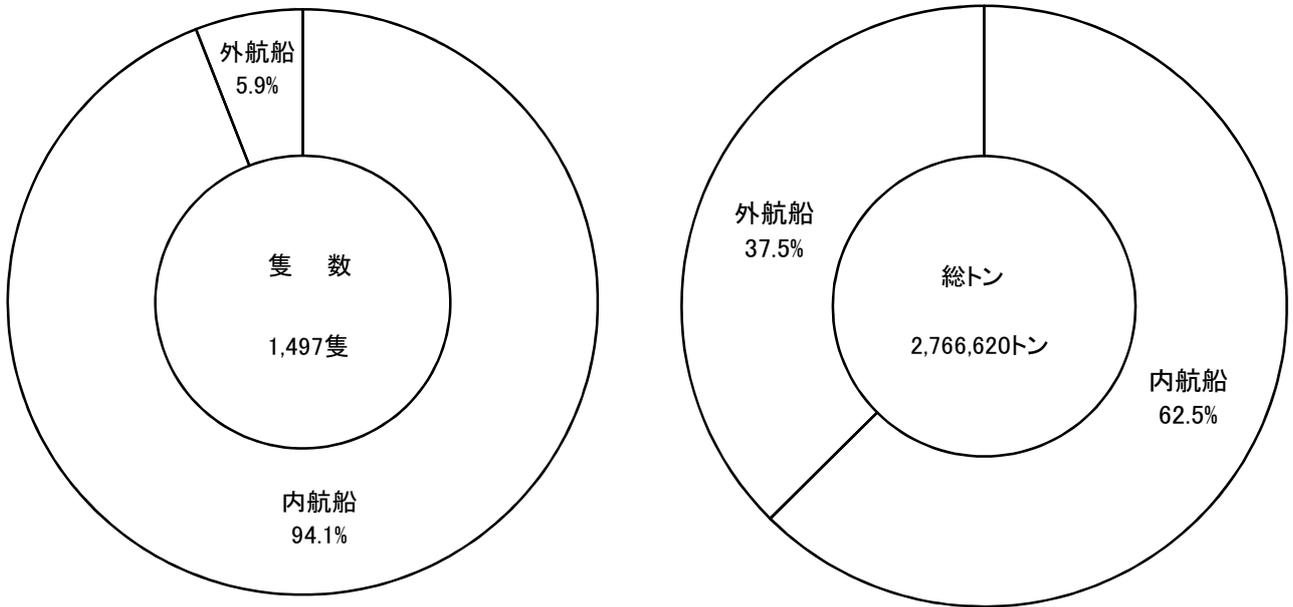
移出入貨物の品種別構成



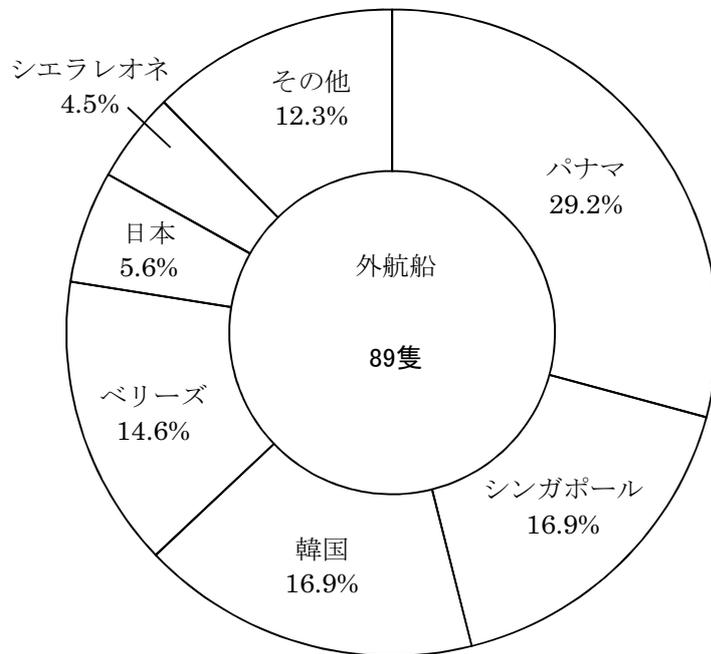
資料: 令和2年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

(8) 令和2年田子の浦港入港船舶の構成

<外内航船の割合>



<外航船の国籍>



資料：令和2年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

## (9) 田子の浦港入港船舶の推移

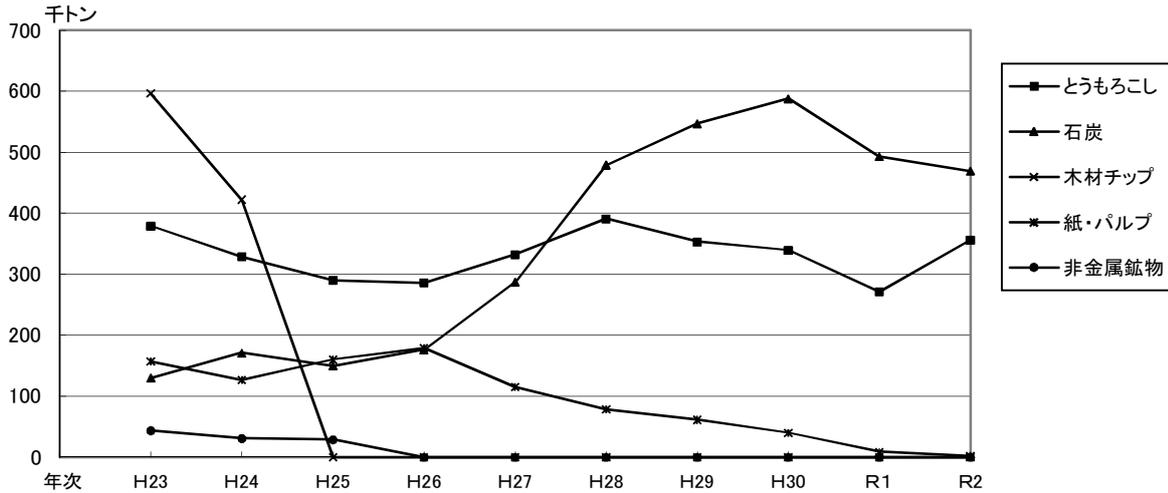
年	合 計		外航船		内航船		R1年対比 (%)	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
H16	3,822	6,581,283	247	3,711,640	3,575	2,869,643	231.2	224.2
H17	3,716	6,418,372	244	3,489,629	3,472	2,928,743	224.8	218.6
H18	3,697	6,169,209	259	3,206,691	3,438	2,962,518	223.7	210.1
H19	3,466	5,704,114	245	3,008,055	3,221	2,696,059	209.7	194.3
H20	3,413	4,472,387	189	1,819,454	3,224	2,652,933	206.5	152.3
H21	2,804	3,745,284	157	1,558,998	2,647	2,186,286	169.6	127.6
H22	2,922	3,518,562	151	1,226,498	2,771	2,292,064	176.8	119.8
H23	2,850	3,978,212	146	1,766,593	2,704	2,211,619	172.4	135.5
H24	2,625	3,555,349	133	1,489,931	2,492	2,065,418	158.8	121.1
H25	2,334	2,947,440	133	1,095,567	2,201	1,851,873	141.2	100.4
H26	2,189	2,968,844	115	1,092,321	2,074	1,876,523	132.4	101.1
H27	2,039	3,100,366	124	1,235,922	1,915	1,864,444	123.4	105.6
H28	1,936	3,303,977	108	1,415,904	1,828	1,888,073	117.1	112.5
H29	1,828	3,276,128	113	1,436,797	1,715	1,839,331	110.6	111.6
H30	1,687	3,403,225	116	1,454,594	1,571	1,948,631	102.1	115.9
R1	1,653	2,935,833	97	1,008,324	1,556	1,927,509	100.0	100.0
R2	1,497	2,766,620	89	1,037,696	1,408	1,728,924	90.6	94.2

資料：令和2年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

(10) 主要輸入品の年次推移

単位：千トン

品名	年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2
とうもろこし		379	329	290	286	332	391	353	339	271	356
石炭		130	171	150	176	287	479	547	588	493	469
木材チップ		596	422	0	0	0	0	0	0	0	0
紙・パルプ		157	127	160	179	115	78	62	40	9	2
非金属鉱物		44	31	29	0	0	0	0	0	0	0



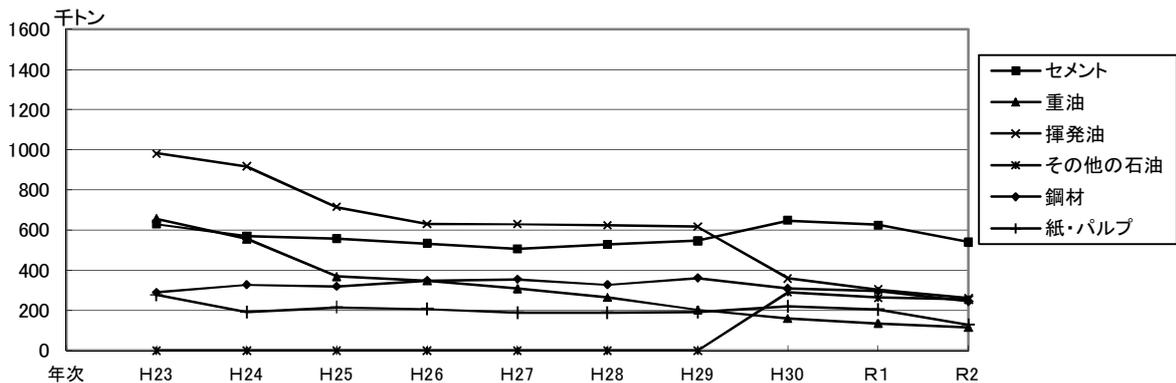
資料：令和2年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

(11) 主要移入品の年次推移

単位：千トン

品名	年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R2
セメント		629	570	557	533	507	528	546	647	625	540
重油		656	556	368	347	307	264	202	160	134	114
揮発油 (H29まで石油製品)		982	917	714	631	630	623	617	359	303	262
その他の石油		-	-	-	-	-	-	-	290	262	254
鋼材		289	327	318	348	354	327	360	309	296	245
紙・パルプ		278	191	215	207	189	188	192	220	203	129

※H30から「石油製品」は「揮発油」と「その他の石油」に分類して集計



資料：令和2年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

## V 富士市の工業基盤・資源の概要

### 1 工業用水道

#### (1) 東駿河湾工業用水道

富士市及び静岡市の一部からなる東駿河湾地域は、地下水や富士川、安倍川等の豊富な流水に恵まれ、紙パルプ、化学、石油、食料品、非鉄金属工業等を中心に工業が発達した。

これらの工業の発展と港湾、道路等産業基盤整備による新規工場の立地とあいまって、両地区とも工業用水の需要が急速に増大し、特に、岳南地区では地下水の過剰揚水により地下水位が著しく低下するとともに、塩水混入の現象が顕著になり、その影響範囲も急速に拡大した。

このような中で、静岡県は流域の工場の水需要に応じるとともに、地下水保全のため、日本軽金属株式会社蒲原工場の発電放流水を利用し、給水能力日量 1,316,000 m<sup>3</sup>の工業用水道建設計画を立て、昭和 41 年度に着工、昭和 46 年 12 月から一部給水を開始した。東駿河湾工業用水道は、現在 793,100 m<sup>3</sup>/日の給水能力を備えている。

#### ア 施設の概要

給水区域	静岡市、富士市			
給水量		岳南地区	静清庵地区	計
	計画給水量	1,081,000 m <sup>3</sup> /日	235,000 m <sup>3</sup> /日	1,316,000 m <sup>3</sup> /日
	現況給水能力	675,600 m <sup>3</sup> /日	117,500 m <sup>3</sup> /日	793,100 m <sup>3</sup> /日
給水開始年月日	昭和 46 年 12 月 26 日 一部給水			
工期	昭和 41 年度～昭和 60 年度（第 1 期工事）			
水源	種別	表流水		
	河川名	富士川		
	取水地点	静岡市清水区蒲原地先（日本軽金属発電放水路）		
	計画取水量	1,415,000 m <sup>3</sup> /日（16.377 m <sup>3</sup> /秒）		
施設	取送配水場	取水場 1 浄水場 2		
	浄水方式	傾斜板付薬品横流沈殿 沈砂池 8 沈殿池 28		
	送配水方式	ポンプ圧送 取水 4 台 中継 4 台 送水 3 台 配水池 3 受水槽 1		
	管路延長	98 k mダクタイル鋳鉄管 他		
	水質 (5年平均)	水温 15.4℃ 濁度 1.1 p H7.5（富士川浄水場） 水温 15.6℃ 濁度 2.6 p H7.5（厚原浄水場）		
料金	選択	基本料金 13 円/m <sup>3</sup> 使用料金 3 円/m <sup>3</sup>	基本使用料金 16 円/m <sup>3</sup>	
		超過料金 32 円/m <sup>3</sup>	超過料金 32 円/m <sup>3</sup>	

#### イ 年度別給水状況

単位：立方メートル

区分 年度	給水先数 (事業所)	年間基本 使用水量	年間実 使用水量	1日平均水量	給水収益 (税込み、千円)
H28	99	146,890,017	96,920,168	265,535	2,406,123
H29	100	146,765,364	96,678,759	264,873	2,408,130
H30	98	135,631,792	92,132,023	252,416	2,218,569
R 1	95	134,789,509	90,028,314	245,979	2,217,994
R 2	95	133,948,205	88,405,795	242,208	2,236,964

資料：静岡県企業局「企業局概要」

(2) 富士川工業用水道

富士市周辺は、昔から豊富で良質な地下水をもってその名を知られたところであり、明治期以降には近代製紙産業、パルプ工業が集積したが、田子の浦港の整備等とあいまって岳南工業地域としてめざましい発展を遂げた。しかし、工業の発展とともに地下水の汲み上げが増大し、この過剰揚水によって地下水位の低下、井戸の相互干渉及び塩水混入の傾向が顕著にあらわれてきたため、214,000 m<sup>3</sup>/日の給水能力をもつ工業用水道施設を計画し、昭和32年度に農業用水と一部共同工事方式で富士川工業用水道建設に着手した。昭和39年4月から一部給水を開始し、昭和41年度に完成を迎えた。昭和42年度からは、全量給水を行っている。

ア 施設の概要

給水区域		富士市	
計画給水量		214,000 m <sup>3</sup> /日	
給水開始年月日		昭和42年4月1日（昭和39年4月13日一部給水）	
工期		昭和32年度～昭和41年度	
水源	種別	表流水（発電所放流水）	
	河川名	芝川（富士川支川）	
	取水地点	富士宮市羽鮒（芝富発電所放水路）	
	計画取水量	214,000 m <sup>3</sup> /日（2.477 m <sup>3</sup> /秒）	
施設	取送配水場	取水場1	
	浄水方式	沈砂池1（原水）	
	送配水方式	自然流下	
	管路延長	22 km（うち、共用ずい道7 km）ダクタイル鋳鉄管 他	
	水質 （5年平均）	水温 13.1℃ 濁度 5.0 pH 7.6	
料金	選択	基本料金 6.8 円/m <sup>3</sup> 使用料金 0.5 円/m <sup>3</sup>	基本使用料金 7.3 円/m <sup>3</sup>
		超過料金 14.6 円/m <sup>3</sup>	超過料金 14.6 円/m <sup>3</sup>

資料：静岡県企業局「企業局概要」

イ 年度別給水状況

単位：立方メートル

区分 年度	給水先数 （事業所）	年間基本 使用水量	年間実 使用水量	1日平均水量	給水収益 （税込み、千円）
H28	10	37,376,286	26,398,640	72,325	288,747
H29	11	38,467,049	27,972,932	76,638	298,061
H30	11	38,106,465	26,330,586	72,139	295,390
R 1	12	38,448,106	12,638,763	34,532	293,762
R 2	11	20,670,183	6,352,457	17,404	159,051

資料：静岡県企業局「企業局概要」

(3) 工業用水道業種別契約水量の推移

ア 東駿河湾工業用水道

単位：(給水先数), 立方メートル/日

	H29. 3. 26	H30. 3. 26	H31. 3. 26	R2. 3. 26	R3. 3. 26
食料品関連	( 8) 26, 343	( 8) 26, 343	( 7) 25, 956	( 6) 25, 726	( 7) 25, 956
紙・パルプ	(49) 279, 339	(50) 277, 749	(50) 259, 118	(48) 256, 950	(47) 252, 000
化学・石油	(17) 63, 529	(16) 51, 365	(16) 51, 376	(16) 51, 376	(16) 51, 376
金属製品	( 5) 8, 940	( 5) 8, 940	( 5) 8, 940	( 5) 8, 940	( 5) 8, 940
電気・機械	( 4) 12, 786	( 4) 12, 786	( 4) 12, 786	( 4) 12, 786	( 4) 12, 786
その他	(16) 11, 491	(16) 11, 351	(16) 11, 351	(16) 11, 351	(16) 11, 351
合計	(99) 402, 428	(99) 388, 534	(98) 369, 527	(95) 367, 129	(95) 362, 409
静庵地区計	(28) 50, 619	(28) 50, 479	(27) 50, 092	(26) 49, 262	(27) 47, 492
①岳南地区計	(71) 351, 809	(71) 338, 055	(71) 319, 435	(69) 317, 867	(68) 314, 917
紙・パルプ	(48) 271, 139	(49) 269, 549	(49) 250, 918	(47) 249, 350	(46) 246, 400
その他	(23) 80, 670	(22) 68, 506	(22) 68, 517	(22) 68, 517	(22) 68, 517

イ 富士川工業用水道

単位：(給水先数), 立方メートル/日

	H29. 3. 26	H30. 3. 26	H31. 3. 26	R2. 3. 26	R3. 3. 26
食料品関連	( 1) 12, 493	( 1) 12, 493	( 1) 12, 493	( 1) 12, 493	( 1) 12, 493
繊維工業	-	-	-	-	-
紙・パルプ	( 7) 87, 340	( 7) 87, 340	( 7) 87, 340	( 8) 88, 340	( 7) 9, 716
化学・石油	( 1) 2, 958	( 2) 4, 308	( 2) 4, 958	( 2) 4, 958	( 2) 4, 958
その他	( 1) 100	( 1) 100	( 1) 100	( 1) 100	( 1) 100
②合計	(10) 102, 891	(11) 104, 241	(11) 104, 891	(12) 105, 891	(11) 27, 267

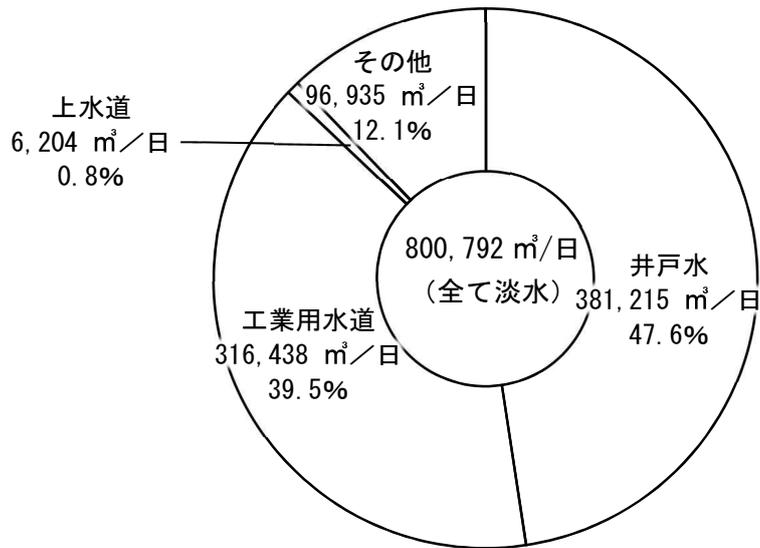
	H29. 3. 26	H30. 3. 26	H31. 3. 26	R2. 3. 26	R3. 3. 26
合計 (富士市①+②)	(81) 454, 700	(82) 442, 296	(82) 424, 326	(81) 423, 758	(79) 342, 184

資料：静岡県企業局「企業局概要」

## 2 工業用水

### (1) 工業用水利用状況

#### ア 平成 30 年工業用水使用量水源別構成比（従業者 30 人以上の事業所）



資料：富士市「2019年工業統計調査結果」

#### イ 工業用水使用量の推移（従業者 30 人以上の事業所）

年次	事業所数 (事業所)	水源別用水量 (m³/日)					
		総数	公共水道		井戸水	その他	回収水
			工業用水道	上水道			
H17	211	2,385,604	596,229	5,497	409,630	168,365	1,205,883
H18	213	2,366,872	585,829	5,908	412,943	161,731	1,200,461
H19	216	2,327,832	578,309	5,849	406,309	160,762	1,176,603
H20	230	2,295,363	567,322	6,538	389,222	119,845	1,212,436
H21	213	2,094,040	513,671	6,351	356,805	110,247	1,106,966
H22	205	1,913,441	503,101	5,305	381,035	78,619	945,381
H23	220	1,853,326	489,945	5,490	381,357	76,140	900,394
H24	208	1,696,965	354,699	6,813	395,519	52,937	886,997
H25	212	1,618,214	337,971	4,884	390,515	44,045	840,799
H26	206	1,571,516	327,299	4,970	353,076	50,765	835,406
H27	223	1,403,267	328,026	4,661	381,066	53,208	636,306
H28	230	825,335	335,238	5,231	388,816	96,050	—
H29	229	819,554	330,120	5,306	383,691	100,437	—
H30	235	800,792	316,438	6,204	381,215	96,935	—
		100.0%	39.5%	0.8%	47.6%	12.1%	(—)

資料：富士市「2019年工業統計調査結果」

※ 全て淡水 ※ 「—」は該当数値なし。 ※ 平成 30 年の下段は構成比

ウ 平成 30 年産業分類別工業用水利用状況（従業者 30 人以上の事業所）

産業中分類	事業所数 (事業所)	総数	水源別用水量 (m <sup>3</sup> /日)			
			公共水道		井戸水	その他
			工業用 水道	上水道		
総数	235	800,792	316,438	6,204	381,215	96,935
9 食料品	23	46,347	32,735	1,009	12,209	394
10 飲料・たばこ・飼料	2	X	—	X	X	—
11 繊維工業	2	X	—	X	X	—
12 木材・木製品	4	666	288	43	335	—
13 家具・装備品	—	—	—	—	—	—
14 パルプ・紙	84	659,896	248,924	2,277	314,124	94,571
15 印刷	2	X	—	X	—	—
16 化学工業	19	54,532	25,026	1,212	26,773	1,521
17 石油・石炭	—	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品	20	2,621	68	78	2,224	251
19 ゴム製品	—	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品	—	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	3	2,311	—	9	2,104	198
22 鉄鋼業	8	53	—	12	41	—
23 非鉄金属	—	—	—	—	—	—
24 金属製品	11	1,484	83	88	1,313	—
25 はん用機械	7	2,110	8	89	2,013	—
26 生産用機械	15	4,960	1,063	874	3,023	—
27 業務用機械	6	33	—	24	9	—
28 電子部品・デバイス	5	265	241	24	—	—
29 電気機械	10	391	31	118	242	—
30 情報通信機械	—	—	—	—	—	—
31 輸送機械	11	12,936	7,971	288	4,677	—
32 その他	3	13	—	13	—	—
秘匿欄	—	12,174	—	46	12,128	—

資料：富士市「2019年工業統計調査結果」

- ※ 全て淡水
- ※ 下線部は重化学工業
- ※ 「—」は該当数値なし

## (2) 平成 30 年市町別の水源別用水量（従業者 30 人以上の事業所）

市町名	事業所数 (事業所)	水源別用水量 (m <sup>3</sup> /日)				
		淡水	公共水道		井戸水	その他
			工業用 水道	上水道		
総 数	2,386	1,827,740	510,667	66,865	983,439	266,769
静 岡 市	271	122,959	44,598	4,816	55,953	17,592
浜 松 市	489	56,605	20,416	4,145	31,602	442
沼 津 市	110	53,554	1,512	2,357	49,496	189
熱 海 市	—	—	—	—	—	—
三 島 市	45	11,764	54	1,030	10,676	4
富 士 宮 市	106	137,400	—	10,237	124,547	2,616
伊 東 市	2	X	—	X	X	—
島 田 市	73	172,819	—	1,314	26,562	144,943
富 士 市	235	800,792	316,438	6,204	381,215	96,935
磐 田 市	173	44,264	6,648	3,555	34,048	13
焼 津 市	145	35,677	—	9,117	26,474	86
掛 川 市	100	19,977	2,188	6,376	9,798	1,615
藤 枝 市	95	45,733	—	2,976	42,754	3
御 殿 場 市	49	13,794	2,551	454	10,495	294
袋 井 市	87	18,793	11,102	1,923	5,368	400
下 田 市	3	78	—	74	3	1
裾 野 市	34	21,077	—	408	19,608	1,061
湖 西 市	62	14,212	9,794	908	3,510	—
伊 豆 市	7	190	—	152	38	—
御 前 崎 市	23	1,869	869	906	92	2
菊 川 市	40	1,850	78	1,720	—	52
伊豆の国市	26	1,515	—	1,476	31	8
牧 之 原 市	52	5,521	2,270	3,079	172	—
群 (町) 計	159	246,955	92,149	3,511	150,782	513

資料：静岡県「2019年工業統計調査報告書」

※ 「—」は該当数値なし、「X」は秘匿箇所

### 3 工業排水（岳南排水路）

#### (1) 概要

岳南排水路は、用水型企业の多い岳南地区において、工業の発展に伴い工場排水が耕地等に流入しないようにするため、昭和26年度から整備されてきた工業専用の都市下水路である。

対象地域は富士市と富士宮市にわたり、86の工場からの排水が2か所の吐口を経て、田子の浦港に流入している。

管路の総延長は約38キロメートル、1日の排水能力は約180万立方メートルで、排水量に応じた使用料金を徴収している。管理は、岳南排水路管理組合で行っている。

#### (2) 岳南排水路の利用状況（令和2年度）

岳南排水路から田子の浦港に流入した工場排水の実績は、年間215,615,589立方メートル、日量は、64万立方メートルと推定される。排水量上位10工場の排水は、全体の52.0パーセントを占めている。

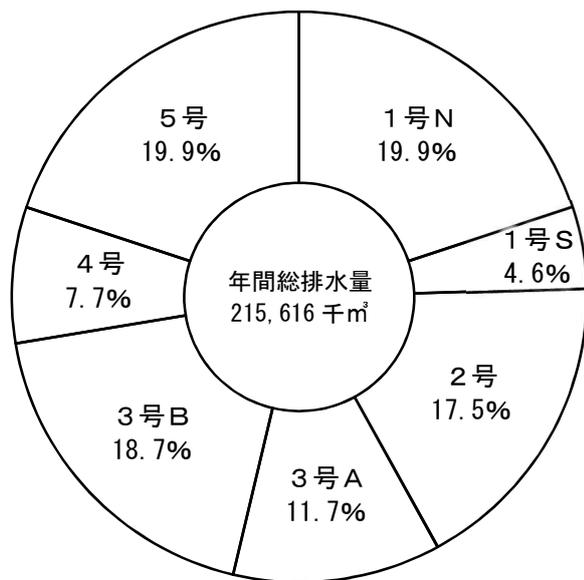
##### ア 排水管路別工場数（令和3年2月末現在）

管路名	富士宮市		富士市						合計
	1号N	1号S	1号N	1号S	2号	3号A	3号B	4号	
工場数	8/9	16/18	13/14	17/22	7/7	6/7	3/3	6/6	76/86

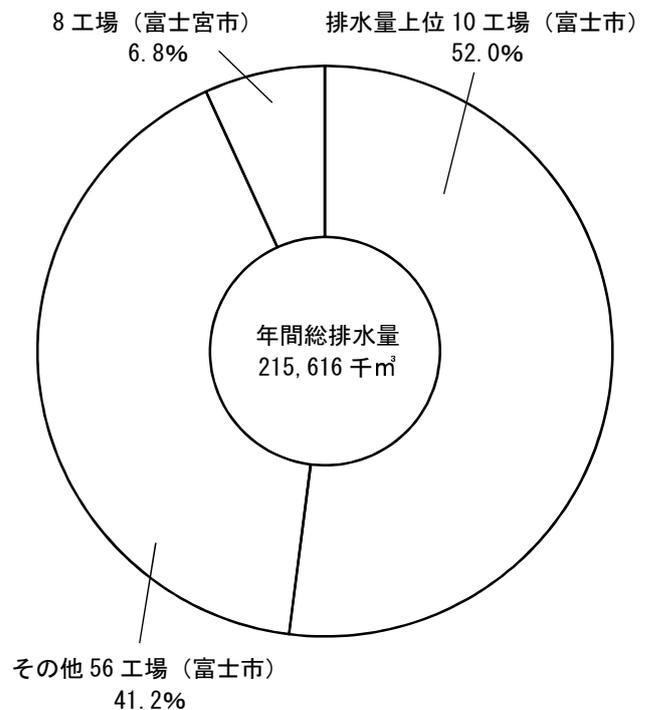
※実稼働工場数/使用工場数

資料：岳南排水路管理組合

##### イ 管路別年間排出量 （令和2年度）



##### ウ 事業所別排出量の割合 （休止工場は含まず。）







## 富士市の工業（令和3年度）

---

令和3年9月発行

編集・発行 富士市 産業経済部 産業政策課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地  
TEL. 0545-55-2779 / FAX. 0545-51-1997  
E-mail sa-sangyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

---

行政資料登録番号 R3-31